令和２年度（２０２０年度）

学　生　募　集　要　項

推　薦　入　試　Ⅱ

法文学部
- 法経社会学科
- 人文学科

教育学部
- 学校教育教員養成課程
  - 初等教育コース
    - 一般
    - 音楽
    - 保健体育
  - 中等教育コース
    - 国語
    - 社会
    - 英語
    - 数学
    - 理科
    - 美術

理学部
- 理学科
  - 化学プログラム
  - 生物学プログラム
  - 地球科学プログラム

医学部
- 医学科

歯学部
- 歯学科

工学部
- 先進工学科
  - 機械工学プログラム
  - 電気電子工学プログラム
  - 海洋土木工学プログラム
  - 化学工学プログラム
  - 化学生命工学プログラム
  - 情報・生体工学プログラム
- 建築学科
  - 建築学プログラム

共同獣医学部
- 獣医学科

鹿　児　島　大　学

教育学部の改組計画について

鹿児島大学教育学部では，令和２年４月に学校教育教員養成課程（初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コース）１課程に再編成するとともに入学定員を減員する予定です。同時に，特別支援教育教員養成課程の募集を停止する予定です。

改組の内容は，予定であり，文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等により変更の可能性があります。確定後の内容については，学生募集要項で必ずご確認ください。

現在，教育学部では，特別支援教育教員養成課程の募集を停止するとともに，学校教育教員養成課程の入学定員を減員した上で学校教育教員養成課程（初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コース）１課程に再編成することとしています。

現在のところ，これらは確定したものではなく変更があり得ますが，この計画に伴う令和２年度入学者選抜は下記のとおり実施する予定です。

１．改組計画（予定）

従前（現行）	改組後（令和２年度）
２課程（入学定員：215名） 学校教育教員養成課程（入学定員：200名） 初等教育コース　（85名） 中等教育コース　（62名） 実技系初等中等教育コース（53名） 特別支援教育教員養成課程（入学定員：15名）	１課程（入学定員：190名） 学校教育教員養成課程（入学定員：190名） 初等教育コース　（112名） 中等教育コース　（63名） 特別支援教育コース（15名）

２．学校教育教員養成課程(初等教育コース･中等教育コース･特別支援教育コース)の再編成

(1) 改組の目的

教育学部では，Society 5.0に向けて，これからの社会を生きていく子供の学ぶ力・学び続ける力を地域との関わりの中で育てるために，自らの専門性を効果的に活かして多様な他者と協働し，グローカルな視野をもって，地域を活かし輝かせる教員の養成を目指します。

そのため，この度，入学定員の見直しと入試改革を行い，学校教育教員養成課程の１課程に全体を再編成することにしました。

(2) 入学者選抜

①入学定員及び募集人員（予定）

（現行）

学科・課程等			入学定員	募集人員					
				一般入試		特別入試			
				前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	国際バカロレア入試	私費外国人学部留学生入試
学校教育教員養成課程	初等教育コース		200	65	20			若干人	若干人
	中等教育コース	国語		7			2		
		社会		7			2		
		英語		7			2		
		数学		9			2		
		理科		7			2		
		技術		4		2	1		
		家政		4		2	2		
	実技系初等中等教育コース	音楽		10	4				
		美術		11			3		
		保健体育		20	5				
特別支援教育教員養成課程			15	11	4				
合計			215	162	33	4	16		

（令和２年度）

学科・課程等			入学定員	募集人員					
				一般入試		特別入試			
				前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	国際バカロレア入試	私費外国人学部留学生入試
学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	190	68	20		10	若干人	若干人
		音楽					5		
		保健体育					9		
	中等教育コース	国語		5			3		
		社会		3			2		
		英語		6			2		
		数学		6			2		
		理科		5			3		
		技術		3		2			
		家政		3		2			
		音楽		5					
		美術		3			2		
		保健体育		6					
	特別支援教育コース			11	4				
合計			190	124	24	4	38		

②各入試の実施教科・科目等（予定）

（現行）

学科・課程等 ＼ 選抜方法等			個別学力検査等					推薦入試					国際バカロレア入試	私費外国人学部留学生入試
			試験日程	個別学力検査	実技検査等			推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実技検査等				
					実技検査	面接	小論文			実技検査	面接	小論文		
学校教育教員養成課程	初等教育コース		前	○	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
			後	－	－	－	○	－	－	－	－	－		
	中等教育コース	国語	前	○	－	－	－	－	○	－	○	－	○	○
		社会	前	○	－	－	－	－	○	－	○	－	○	○
		英語	前	○	－	－	－	－	○	－	○	－	○	○
		数学	前	○	－	－	－	－	○	－	○	－	○	○
		理科	前	○	－	－	－	－	○	－	○	－	○	○
		技術	前	○	－	－	－	○	－	－	○	○	○	○
								－	○	－	○	－	○	○
		家政	前	○	－	－	－	○	－	－	－	○	○	○
								－	○	－	○	－	○	○
	実技系初等中等教育コース	音楽	前	○	○	－	－	－	－	－	－	－	○	○
			後	○	○	－	－	－	－	－	－	－	○	○
		美術	前	○	○	－	－	－	○	－	○	－	○	○
		保健体育	前	－	○	－	－	－	－	－	－	－	○	○
			後	－	○	－	－	－	－	－	－	－	○	○
特別支援教育教員養成課程			前	○	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
			後	－	－	－	○	－	－	－	－	－		

（令和２年度）

学科・課程等 ＼ 選抜方法等			個別学力検査等					推薦入試					国際バカロレア入試	私費外国人学部留学生入試
			試験日程	個別学力検査	実技検査等			推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実技検査等				
					実技検査	面接	小論文			実技検査	面接	小論文		
学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	前	○	－	○	－	－	○	－	○	－	○	○
			後	－	－	○	○	－	－	－	－	－		
		音楽	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－
		保健体育	－	－	－	－	－	－	○	－	○	－	－	－
	中等教育コース	国語	前	○	－	○	－	－	○	－	○	－	○	○
		社会	前	○	－	○	－	－	○	－	○	－	○	○
		英語	前	○	－	○	－	－	○	－	○	－	○	○
		数学	前	○	－	○	－	－	○	－	○	－	○	○
		理科	前	○	－	○	－	－	○	－	○	－	○	○
		技術	前	○	－	○	－	○	－	－	○	○	○	○
		家政	前	○	－	○	－	○	－	－	○	○	○	○
		音楽	前	○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○
		美術	前	○	○	○	－	－	○	－	○	－	○	○
		保健体育	前	－	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○
	特別支援教育コース		前	○	－	○	－	－	－	－	－	－	○	○
			後	－	－	○	○	－	－	－	－	－		

③大学入試センター試験の利用教科・科目名及び配点について（予定）

初等教育コースの推薦入試Ⅱの選抜については，以下の１）のとおりです。中等教育コースの推薦入試Ⅱの選抜については，技術と家政は募集停止とし，また次頁の２）の英語以外は，従来，各学科で課していた教科・科目等からの変更はありません。

１）初等教育コース

学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験の配点等						
		教科	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
初等教育コース	一般	国 地歴 公民 数 理 外 文系受験型	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から２ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報 から１又は２ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２ から３又は４ 英，独，仏，中，韓から１ （公民の「現社」を選択解答する場合，他の１科目は，「世Ａ」「世Ｂ」「日Ａ」「日Ｂ」「地理Ａ」「地理Ｂ」から選択解答すること。 数学から１科目選択解答する場合，理科は①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。 数学から２科目選択解答する場合，理科は①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。） 〔５教科７か８科目又は６教科７か８科目〕	200	200		＊200	＊200	200	900
		国 地歴 公民 数 理 外 理系受験型	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２ から２又は３ 英，独，仏，中，韓から１ （理科については，①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。ただし，同一名称を付した科目（「物基」と「物」，「化基」と「化」，「生基」と「生」，「地学基」と「地学」）の選択解答は認めない。） 〔５教科７か８科目〕	200	100		200	200	200	900
	音楽・保健体育	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から２ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報 から１又は２ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２ から３又は４ 英，独，仏，中，韓から１ （数学から１科目選択解答する場合，理科は①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。 数学から２科目選択解答する場合，理科は①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。） 〔５教科７か８科目又は６教科７か８科目〕	200	200		＊200	＊200	200	900

【注意】

・数学及び理科に＊を付してあるものは，「数学２科目・200点，理科①２科目・100点又は理科②１科目・100点」，あるいは，「数学１科目・100点，『理科①２科目・100点と理科②１科目・100点の計200点』又は理科②２科目・200点」の配点となる。

・数学及び理科を合わせて４又は５科目受験している場合は，(i) 数学の得点の高い科目，(ii)「理科①（２科目）」と「理科②の第１解答科目」のうち得点の高い方，(iii) 残りの科目のうち得点の高い科目の成績を利用する。

・大学入試センター試験の「数学」において『簿記・会計』，『情報関係基礎』を選択解答することができる者は，高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。

・初等教育コース（一般）の理系受験型においては，「地歴」・「公民」は，第１解答科目の成績を利用する。

2）中等教育コース（英語）

（現行）

学科等名		大学入試センター試験の配点等						
		国　語	地　歴	公　民	数　学	理　科	外国語	配　点 合　計
中等教育コース	英語	200	200		＊200	＊200	200	900

（令和２年度）

学科等名		大学入試センター試験の配点等						
		国　語	地　歴	公　民	数　学	理　科	外国語	配　点 合　計
中等教育コース	英語	200	200		＊150	＊150	300	900

④個別学力検査等の配点等について（予定）

1）推薦入試Ⅰ

中等教育コース技術については，従来，課していた教科･科目等からの変更はありません。

なお，中等教育コース家政については，以下のとおりです。

（現行）

学科等名		個別学力検査等		個別学力検査等の配点等			
		教科等	科目名等	小論文	面接	調査書	配　点 合　計
中等教育コース	家政	その他	小論文	100			100

（令和２年度）

学科等名		個別学力検査等		個別学力検査等の配点等			
		教科等	科目名等	小論文	面接	調査書	配　点 合　計
中等教育コース	家政	その他	小論文及び面接	100	100		200

2）推薦入試Ⅱ

中等教育コースの選抜については，技術と家政の募集停止以外は，従来，各学科で課していた教科・科目・配点等からの変更はありません。

なお，初等教育コースの選抜については，以下のとおりです。

学科等名		個別学力検査等		個別学力検査等の配点等			
		教科等	科目名等	実技	面接	調査書	配　点 合　計
初等教育コース	一般 （文系受験型） （理系受験型）	その他	面接		400	200	600
	音楽	その他	実技及び面接	300	300	300	900
	保健体育	その他	面接		300	300	600

3）一般入試（前期日程・後期日程）

全コースの選抜について，従来，各学科で課していた教科・科目等に下線のとおり面接を加え以下のとおり実施します。

なお，中等教育コースの音楽と保健体育の後期日程は募集停止となります。

学科等名			個別学力検査等		個別学力検査等の配点等								
			教科等	科目名等	国語	数学	外国語	楽典	美術	小論文	実技	面接	配点合計
初等教育コース	一般 文系受験型	前期	国 数 外 その他	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅱ・数A・数B, から1 数Ⅲ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ から2 面接	＊150	＊150	＊150					100	400
		後期	その他	小論文及び面接						400		100	500
	一般 理系受験型	前期	国 外 数 その他	国語総合・現代文B・古典B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ から1 数Ⅱ・数A・数B, から1 数Ⅲ・数A・数B 面接	＊150	150	＊150					100	400
		後期	その他	小論文及び面接						400		100	500
中等教育コース	国語	前期	国 数 外 その他	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅱ・数A・数B, から1 数Ⅲ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ から2 面接	＊150	＊150	＊150					100	400
	社会				＊150	＊150	＊150					100	400
	英語		国 数 外 その他	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅱ・数A・数B, から1 数Ⅲ・数A・数B から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接	＊150	＊150	150					100	400
	数学		国 外 数 その他	国語総合・現代文B・古典B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ から1 数Ⅱ・数A・数B, から1 数Ⅲ・数A・数B 面接	＊150	150	＊150					100	400
	理科				＊150	150	＊150					100	400
	技術				＊150	150	＊150					100	400
	家政				＊150	150	＊150					100	400
	音楽		その他	楽典，実技及び面接				60			240	100	400
	美術		その他	美術（筆記），実技及び面接					※50		※250	100	400
	保健体育		その他	実技及び面接							300	100	400
特別支援教育コース	文系受験型	前期	国 数 外 その他	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅱ・数A・数B, から1 数Ⅲ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ から2 面接	＊150	＊150	＊150					100	400
		後期	その他	小論文及び面接						400		100	500
	理系受験型	前期	国 外 数 その他	国語総合・現代文B・古典B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ・英表Ⅱ から1 数Ⅱ・数A・数B, から1 数Ⅲ・数A・数B 面接	＊150	150	＊150					100	400
		後期	その他	小論文及び面接						400		100	500

⑤合否判定基準について（予定）

推薦入試Ⅱの選抜について，以下のとおり初等教育コース音楽及び中等教育コース社会の合否判定基準を追加し，また，中等教育コース理科の合否判定基準を一部変更します。

（現行）

教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース理科及び技術においては，面接の評価が著しく低い場合（100点以下），総合得点にかかわらず，不合格とすることがあります。

（令和２年度）

教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽においては，面接の評価が著しく低い場合（75点以下），中等教育コース社会においては，面接の評価が著しく低い場合（100点以下），中等教育コース理科においては，大学入試センター試験の合計得点が配点合計の55％未満の場合，又は面接の評価が著しく低い場合（100点以下），総合得点にかかわらず，不合格とすることがあります。

⑥志望制について（予定）

一般入試（前期日程）の選抜について，初等教育コース，中等教育コース（音楽・美術・保健体育は除く）と特別支援教育コースの間で第３志望まで志願できます。また，中等教育コース文系グループ（国語・社会・英語）の間で第３志望まで，中等教育コース理系グループ（数学・理科・技術・家政）の間で第２志望まで志願できます。

⑦入試スケジュール

	出願期間	個別学力検査等	合格者発表
一般入試（前期日程）	１/27(月)～２/５(水)	２/25(火)・２/26(水)	３/６(金)
一般入試（後期日程）		３/12(木)	３/20(金)
推薦入試Ⅰ	11/５(火)～11/７(木)	11/19(火)	12/２(月)
推薦入試Ⅱ	１/21(火)～１/23(木)	２/８(土)	２/12(水)
国際バカロレア入試			
私費外国人学部留学生入試			

(3) 入学後の所属・取得可能な免許等（予定）

①初等教育コース（一般）に入学した学生は初等教育コースに所属し，小学校教諭免許取得に対応したカリキュラムに沿って学びます。また，１年後には教科（国語，社会，英語，数学，理科，技術，家政，美術）や専門（教育学，心理学）に分かれ，卒業研究をします。

なお，初等教育コース（音楽，保健体育）に入学した学生は，入学当初から教科は音楽と保健体育に確定することとなり，１年後にそれぞれの教科に分かれます。

②中等教育コースに入学した学生は教科に対応した各分野に所属し，中学校・高等学校教諭免許取得に対応したカリキュラムに沿って学びます。

③特別支援教育コースの入学定員，募集人員，入学後の所属については，いずれも特別支援教育教員養成課程の時と同じです。

④初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コースのいずれに所属する学生でも，従来どおり，卒業要件に加えて各校種・各教科等の所定の単位を修得することによって，次のような免許を取得することができます。

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の各一種免許状

理学部の改組計画について

鹿児島大学理学部では，令和２(2020)年４月に下記のとおり，改組を行う予定です。

１ 鹿児島大学理学部改組の概略

(1) 改組の目的

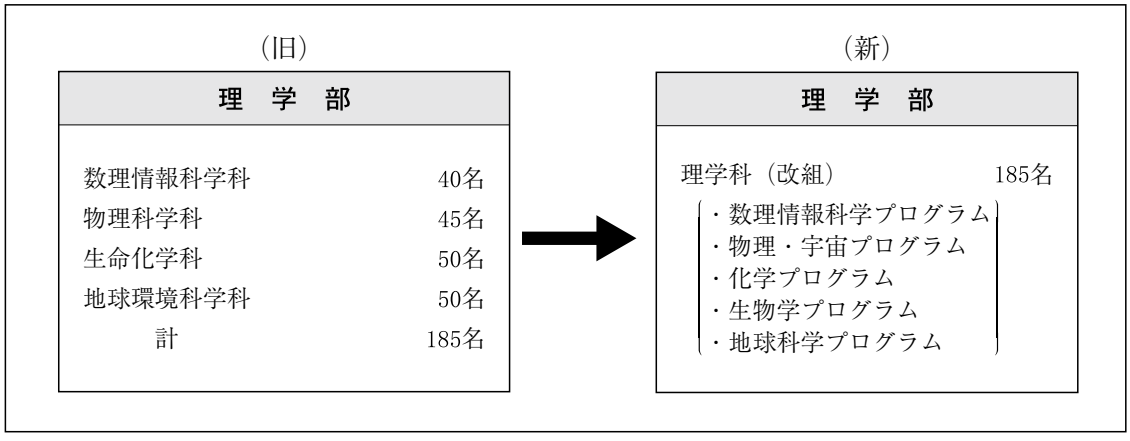
現在，人口減少社会・受験生の減少・学生の質の変化に対応した入試のあり方，社会の変化に応じた大学教育のあり方，教育課程の機動的な展開が必要とされていることから，地方創生のための様々な施策やグローバリズムの進展の中，地域の特性を活かした個性あふれる新しい理学部を作るべく，長期的・計画的かつメリハリのある教育改革や理学部の強み・特色を生かした取組を行う必要があります。

鹿児島大学理学部の役割は，基礎科学に立脚した教育，研究を通して，人類の叡知としての理学の学理を深化させながら，複雑かつグローバルな現代社会において，未来を切り拓く人材を育成していくことです。しかし，科学技術の発展に支えられた現代社会の変化は目覚ましく，従来型の１分野に閉じた狭い学問体系の教育では対応が困難な状況が増えつつあります。この問題を解決するためには，理学に関する幅広い知識と多面的な視野を持ち，社会で起こる様々な状況に柔軟に対応できる理工系人材の育成を目的とした新たな理学教育が必要です。

これに対応するため，理学部では，これまで構成していた４学科（数理情報科学科，物理科学科，生命化学科，地球環境科学科）を統合・再編し，理学科１学科として新たにスタートする予定です。１年次で，理学の学理に基づく体系的な学修を行うために理学部共通科目を履修し，２年次から，数理情報科学，物理・宇宙，化学，生物学，地球科学の５プログラムの授業科目の履修に取り組めるよう教育課程を構築します。入学者選抜についても，プログラム別入試に加えて，新たに大括り入試を導入し，大括り入試による入学者が，２年次に希望に応じてプログラムを選択できるように設定します。

(2) 改組計画（予定）

鹿児島大学理学部では，令和２(2020)年４月より，現状の数理情報科学科，物理科学科，生命化学科及び地球環境科学科による４学科体制を改め，理学科１学科として，数理情報科学プログラム，物理・宇宙プログラム，化学プログラム，生物学プログラム及び地球科学プログラムを設置し，１学科５プログラム体制に移行します。



2 学部改組における定員変更等（予定）

鹿児島大学理学部では，改組に伴い募集人員を下記のとおりとします。

学科	プログラム	入学定員	目安定員※1	募集人員						
				一般入試		特別入試				
				前期日程	後期日程※2	AO入試	推薦入試Ⅱ	自己推薦型入試	国際バカロレア入試	私費外国人学部留学生入試
理学科	数理情報科学	185	(40)	26	25	7	−	3	若干人	若干人
	物理・宇宙		(45)	25		8	−	3		
	化学		(41)	25		−	7	3		
	生物学		(35)	21		−	7	3		
	地球科学		(24)	14		−	6	2		

※1　各プログラムの定員は，大括り入試の入学者の各プログラムへの配属状況で増減することから，目安定員となります。

※2　一般入試（後期日程）及び国際バカロレア入試は，大括り入試で実施し，２年次進級時に希望するプログラムに配属されます（各プログラムの受入体制によっては，希望に沿えないこともあります）。

3 学部改組における入学者選抜の変更等について（予定）

(1) 一般入試（前期日程）の実施教科・科目等

学科	プログラム	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理学科	数理情報科学	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	数 外	数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ
	物理・宇宙			数 理 外	数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ 物基・物 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ
	化学			数 理 外	数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ 化基・化 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ
	生物学			数 理 外	数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ 生基・生 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ
	地球科学			数 理 外	数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ 物基･物，化基･化， 生基・生， 地学基・地学 から１ コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ

(2) 一般入試（後期日程）の実施教科・科目等

一般入試（後期日程）は，理学科として大括りで募集し，２年次進級時に希望するプログラムに配属されます（各プログラムの受入体制によっては，希望に沿えないこともあります)。

学科	大学入試センター試験		個別学力検査等	
	教科	科　目　名　等	教科等	科 目 名 等
理学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	その他	面接

(3) 推薦入試Ⅱの実施教科・科目

学科	プログラム	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科	科　目　名　等	教科等	科 目 名 等
理学科	化学 生物学 地球科学	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	その他	面接

(4) 自己推薦型入試

学科	プログラム	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科	科　目　名　等	教科等	科 目 名 等
理学科	数理情報科学 物理・宇宙 化学 生物学 地球科学	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	その他	講義型試験

(5) 国際バカロレア入試

国際バカロレア入試は，理学科として大括りで募集し，２年次進級時に希望するプログラムに配属されます（各プログラムの受入体制によっては，希望に沿えないこともあります)。

学科	出願要件の履修科目	選抜方法等
理学科	数学（HL） 物理，化学，生物から１科目(HL)	書類審査及び面接を行い，総合的に判定する。 面接は日本語で行う。

（6）私費外国人学部留学生入試

①出願資格

学科	プログラム	TOEFL（iBT）	TOEIC（L&R）	日本留学試験
理学科	数理情報科学	36点以上	420点以上	日本語220点以上（記述を除く）
	物理・宇宙			日本語220点以上（記述を除く） 日本留学試験の理科の科目合計得点60％以上
	化学			
	生物学			
	地球科学			

②日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査科目等

学科	プログラム	日本留学試験			検査科目等	英語能力方法
		試験教科・科目の指定	出題言語の指定	試験の利用		
理学科	数理情報科学	日本語，理科（物，化，生から２科目），数学（コース２）	日本語	直近の２回	面接	TOEFL又はTOEIC
	物理・宇宙	日本語，理科（物１科目，化，生から１科目），数学（コース２）				
	化学	日本語，理科（化１科目，物，生から１科目），数学（コース２）				
	生物学	日本語，理科（生１科目，物，化から１科目），数学（コース２）				
	地球科学	日本語，理科（物，化，生から２科目），数学（コース２）				

（7）ＡＯ入試

数理情報科学プログラムについては，従来，数理情報科学科で課していたとおりの教科・科目等を課し，物理・宇宙プログラムについては，従来，物理科学科で課していたとおりの教科・科目等を課します。

この計画は，文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果により確定するものであり，学科名称等については変更の可能性があります。確定後の内容については，入学者選抜要項及び学生募集要項で必ずご確認ください。

工学部の改組計画について

改組の内容は，予定であり，文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果により変更の可能性があります。確定後の内容については，学生募集要項で必ずご確認ください。

鹿児島大学工学部は，第４次産業革命やSociety 5.0などの新しい時代の変化に対応できる人材を育成するために，令和２年（2020年）４月１日から，現在の7学科構成を新たに，先進工学科（６プログラム）と建築学科（１プログラム）の２学科構成に再編する改組を計画しています。新しく変わる工学部と２つの学科の特色は以下のとおりです。

新しい工学部の特色

- 工学分野の全体把握による視野の拡大と課題解決能力の強化
- 工学基礎教育と数理・データサイエンス教育の強化

先進工学科の特色

- 分野間の融合教育推進によるイノベーション創出のための基礎学力養成
- 入学後にプログラムを選択できる制度の導入

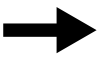
建築学科の特色

- 人文・社会科学，芸術と理工系の学知を基礎とした総合力の養成
- 自己推薦型入試，推薦入試Ⅱ（文系科目重視型）などの多様な入試の導入

現行の７学科と改組後の７プログラムの対応関係及び各入試区分の募集人員は，以下のとおりです。先進工学科の各プログラムの目安の定員は，おおよその人数であり，志願状況により増減があります。

【現行】７学科

学　　科	入学定員
機械工学科	94
電気電子工学科	78
海洋土木工学科	48
環境化学プロセス工学科	35
化学生命工学科	50
情報生体システム工学科	80
建築学科	55
計	440



【改組後】２学科（令和２(2020)年４月～）

学　　科　　等		入学定員
先進工学科	機械工学プログラム	385
	電気電子工学プログラム	
	海洋土木工学プログラム	
	化学工学プログラム	
	化学生命工学プログラム	
	情報・生体工学プログラム	
建築学科	建築学プログラム	55
計		440

入学定員と各入試区分の募集人員

【平成31年度入試(前年度実施分)】

学　科	入学定員	一般入試		特別入試	
		前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ
機械工学科	94	63	13	8	10
電気電子工学科	78	56	12	2	8
海洋土木工学科	48	31	5	−	専 2 普10
環境化学プロセス工学科	35	26	5	−	4
化学生命工学科	50	40	6	−	4
情報生体システム工学科	80	56	10	−	専 4 普10
建築学科	55	44	7	−	4
計	440	316	58	10	56

【改組後】

学科・プログラム		※目安の定員	一般入試			特別入試		
			前期日程		後期日程	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	自己推薦型入試
			通常枠	括り枠				
先進工学科	機械工学	94	56	39	11	8	10	
	電気電子工学	78	47		13	2	8	
	海洋土木工学	48	30		3		専 2 普 8	
	化学工学	35	22		3		6	
	化学生命工学	50	31		6		8	
	情報･生体工学	80	48		10		専 4 普10	
	計	385	234	39	46	10	56	
建築学科	建築学	55	34		5		ア 4 イ 4 ウ 3	5
	計	55	34		5		11	5
合　計		440	268	39	51	10	67	5

※目安の定員は，おおよその人数であり，志願状況等により増減があります。

専：専門教育を主とする学科及び総合学科
普：普通科あるいはこれに準ずる学科
ア：文系科目重視型，イ：理系科目重視型，ウ：実技試験型

国際バカロレア入試及び私費外国人学部留学生入試は，これまでどおり，若干人募集します。

１．新しい入試制度の導入

○先進工学科：入学後にプログラムを選択できる制度の導入

先進工学科では，一般入試前期日程において，入学志願者が大学入学後，先進工学科を構成する６つのプログラムの内容をより深く知った上で，プログラム（すなわち進路）を選択できる制度（括り枠：募集人員39人）を導入します。括り枠で入学した学生は，１年次の前期（最初の半年）の間に，先進工学科の６つのプログラムの内容を網羅した科目（講義だけでなく体験型の演習など）を受講するとともに各プログラムの就職先についての詳しいガイダンスなどを受け，入学の半年後（９月），本人の希望と入学後の学業成績に基づいて各プログラムへの配属を行います。ただし，学修の質を保証するために，各プログラムの受入れ上限を目安の定員の110％と設定する都合上，各プログラムへの配属は本人の希望通りにならない場合もあります。

○建築学科：多様な入試の導入

建築学科では，異なる適性を持つ多様な学生を獲得するために，自己推薦型入試を導入するとともに，推薦入試Ⅱを文系科目重視型，理系科目重視型，実技試験型の３つに分けて実施します。これらの内容は，鹿児島大学ホームページの「入試案内」の「入試の変更点」で既に公表済みですので，ご確認ください。

自己推薦型入試：「平成32年度「自己推薦型入試」導入に伴う募集方法等について」
（注）未定の学科は建築学科となります。

推薦入試Ⅱの変更内容：「2020年度の入学者選抜方法等について(工学部)①」

２．一般入試の実施方法（募集・選抜）

一般入試前期日程・後期日程の試験科目，配点，合否判定基準などは，これまでと変わりません。また，先進工学科の括り枠（各プログラムの選択は入学後）については，これまでの前期日程と同じ方法で選抜します。

一般入試前期日程では，工学部の全７プログラム（通常枠），及び先進工学科の括り枠，合計８つの複数志望制を実施します（出願時に第３志望まで認め，先進工学科の括り枠は第１志望のみ選択可）。一般入試後期日程では，工学部の全７プログラムの複数志望制を実施します（出願時に第３志望まで認めます）。

３．各入試の利用教科・科目等

（1）一般入試 前期日程　実施教科・科目等

学科・プログラム			大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科　目　名　等	教科等	科 目 名 等
先進工学科	通常枠	機械工学	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫･政経 } から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	数 理 外	数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ 物基･物，化基･化から１ コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ
		電気電子工学				
		海洋土木工学				
		化学工学				
		化学生命工学				
		情報・生体工学				
	括り枠					
建築学科	通常枠	建築学				

（2）一般入試 後期日程　実施教科・科目等

学科・プログラム		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科　目　名　等	教科等	科 目 名 等
先進工学科	機械工学	数 理 外	数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ 〔３教科５科目〕	その他	小論文
	電気電子工学				
	海洋土木工学				
	化学工学				
	化学生命工学				
	情報・生体工学				
建築学科	建築学				

（3）推薦入試Ⅰ　実施教科・科目等

学科・プログラム		個別学力検査等	
		教科等	科 目 名 等
先進工学科	機械工学	その他	小論文 面接
	電気電子工学	その他	面接

（4）推薦入試Ⅱ　実施教科・科目等

学科・プログラム		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科　目　名　等	教科等	科 目 名 等
先進工学科	機械工学	数 理	数Ⅱ・数B 物 （理科においては，「物」を第1解答科目として選択解答すること。） 〔2教科2科目〕	その他	面接
	電気電子工学	数 理 外	数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科4科目〕	その他	面接
	海洋土木工学 ［専門教育を主とする学科及び総合学科］	数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から1 〔2教科3科目〕	その他	面接
	海洋土木工学 ［普通科あるいはこれに準ずる学科］	数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から1 〔2教科3科目〕	その他	面接
	化学工学	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科5科目〕	その他	面接
	化学生命工学	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接
	情報・生体工学 ［専門教育を主とする学科及び総合学科］	国 数 理 外	国 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から1 英，独，仏，中，韓から1 〔4教科5科目〕	その他	面接
	情報・生体工学 ［普通科あるいはこれに準ずる学科］	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 〔1教科2科目〕	その他	面接
建築学科	建築学 ア（文系科目重視型）	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から1 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科6科目〕	その他	面接
	建築学 イ（理系科目重視型）	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接
	建築学 ウ（実技試験型）	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から1 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科6科目〕	その他	空間構成

（5）自己推薦型入試　実施教科・科目等

学科・プログラム		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科　目　名　等	教科等	科 目 名 等
建築学科	建築学	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ 〔３教科５科目〕	その他	講義型試験

（6）国際バカロレア入試　出願要件の履修科目等

学科・プログラム		出願要件の履修科目 注：HL＝Higher Level SL＝Standard Level	選抜方法等
先進工学科	機械工学	数学(HL又はSL) 物理 ｝２科目(うち１科目はHL)	書類審査のみで判定する。
	電気電子工学		
	海洋土木工学	数学(HL又はSL) 物理,化学から１科目 ｝２科目(うち１科目はHL)	
	化学工学		
	化学生命工学	数学(HL又はSL) 化学 ｝２科目(うち１科目はHL)	
	情報・生体工学	数学(HL又はSL) 物理,化学から１科目 ｝２科目(うち１科目はHL)	
建築学科	建築学		

（7）私費外国人学部留学生入試　日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査科目等

学科・プログラム	日　本　留　学　試　験			個別学力検査で課す科目等	英語能力測定方法
	試験教科・科目の指定	出題言語の指定	試験の利用		
全学科･全プログラム	日本語，理科(物，化，生から２科目)，数学(コース２)	日本語又は英語	直近の４回	面接	TOEFL 又は TOEIC

目　　次

頁
インターネット出願について……1
鹿児島大学憲章……2
鹿児島大学教育目標・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）……3
Ⅰ　募集人員，対象となる高等学校の学科等及び推薦人員……20
Ⅱ　推薦要件（対象者）……21
Ⅲ　入学者選抜方法……22
　英語の外部英語検定試験の利用について……23
Ⅳ　入学者選抜の実施教科・科目等……24
Ⅴ　採点・評価等基準……31
Ⅵ　出願手続……35
Ⅶ　小論文等の実施日等，時間割，受験上の注意……39
Ⅷ　教育学部の実技検査等……42
Ⅸ　合格者発表……42
Ⅹ　入学手続……42
Ⅺ　推薦入試に出願した者が一般入試を受験する場合……44
Ⅻ　個人情報の取扱いについて……44
ⅩⅢ　障害のある入学志願者の事前相談……45
ⅩⅣ　学生寮，入学料免除制度，入学料徴収猶予制度，授業料免除制度及び奨学金等……46
ⅩⅤ　入試情報開示……50

入学者選抜実施日程

出　願　期　間	令和２年(2020年)1月21日(火)～23日(木)　17時必着 インターネット出願登録及び入学検定料支払手続きは 令和２年(2020年) １月14日(火)から可能
選 抜 実 施 日	令和２年(2020年) ２月８日(土)
合 格 者 発 表 日	令和２年(2020年) ２月12日(水)　15時(予定) 鹿児島大学ホームページ (https://www.kagoshima-u.ac.jp/)
入 学 手 続 日	令和2年(2020年)2月19日(水)　17時必着

インターネット出願について

鹿児島大学では，インターネットを利用した出願手続を行っています。紙媒体の出願は行いませんので，学生募集要項は，**本学ホームページから電子ファイル（PDF 形式）をダウンロードして入手又は参照**してください。

【インターネットを利用した出願の流れ】※❶～❹まで行わなければ出願は完了しません。
（詳細は「Ⅵ　出願手続」 35 頁参照）

❶入試区分・入試制度の確認（事前準備書類の印刷）

本学ホームページ「入試案内」の「インターネット出願サイト」から「募集要項」をダウンロードし，受験希望の学部・学科等の出願条件・検査科目・出願期間や検査日等を確認します。
※事前に準備する書類もありますので，ご注意ください。

❷出願情報の登録（一時保存機能付き）

パソコン又はスマートフォンから本学ホームページ「入試案内」の「インターネット出願登録サイト」にアクセスし，画面の指示に従って登録内容を入力します。
【登録内容】◎入試区分の選択　◎学部・学科・受験科目等の選択
◎氏名・連絡先等の個人情報を入力
※一時保存機能により，検定料支払いの前に学校の先生や保護者の方の確認も可能です。

❸支払い方法の選択・支払い

入学検定料の支払い方法を選択します。
【支払い方法】◎クレジットカード　◎ネットバンキング
◎コンビニエンスストア　◎ATM（ペイジー）
選択した支払い方法に従って，**支払い期限までに**入学検定料を支払います。

❹必要書類の印刷・郵送

出願確認票を印刷し，成績証明書等の必要書類とともに封筒に入れます。
その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り，鹿児島大学へ出願期間に間に合うように郵送し，出願完了となります。

インターネット出願に関する各種情報を，「鹿大ホームページ」
及び「鹿大公式 LINE」で随時お知らせしますので確認してください。

https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html

鹿 児 島 大 学 憲 章

鹿児島大学は，日本列島の南に位置し，アジアの諸地域に開かれ，海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は，我が国の変革と近代化を推進する過程で，多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ，鹿児島大学は，学問の自由と多様性を堅持しつつ，自主自律と進取の精神を尊重し，地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教　育

鹿児島大学は，学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め，幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに，地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は，真理を愛し，高い倫理性と社会性を備え，向上心を持って自ら困難に立ち向かい，国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研　究

鹿児島大学は，個々の研究を重視するとともに，種々の学問分野における優れた研究者の連携により，21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は，地域の要請に応える研究を展開するとともに，普遍性を求める研究活動を推進し，世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は，南九州を中心とする地域の産業の振興，医療と福祉の充実，環境の保全，教育・文化の向上など，地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は，アジアや太平洋諸国との連携を深め，研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し，人類の福祉，世界平和の維持，地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は，学長のリーダーシップのもと，全構成員が運営に責任をもって参画することにより，教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は，大学の自治を礎（いしずえ）とし，常に自己点検・評価を行うとともに，外部からの意見を積極的に反映させ，透明性の高い公正な大学運営を行うことにより，社会への責任を果たす。

2007年11月15日　制定

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は，進取の気風にあふれる総合大学として，学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め，自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲る。

１．幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ，諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。

２．豊かな人間性と倫理観を身につけ，向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。

３．地域における活動に積極的に関わり，社会の発展に貢献できる行動力を養う。

４．グローバルな視野をもち，国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

鹿児島大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

〈鹿児島大学が求める学生像〉

鹿児島大学は，教育目標に定める人材を育成するため，次のような学生を求めています。

１．鹿児島大学の教育目標に共感し，それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人
２．人間としてのモラルを大切にし，教養をより高めようとする人
３．知的向上心に富み，専門職業人として社会に貢献することをめざす人
４．ボランティアやインターンシップをはじめ，広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

各学部･学科等の入学者受入方針（アドミッション･ポリシー）【推薦入試Ⅱ】

法 文 学 部

教育目標

法文学部は，情報化，国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
⑵　地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
⑶　現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
⑷　大学で自分の将来および可能性を探求する意欲のある人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

入試で課されている教科を中心とした幅広い基礎学力
⑴　国語の基礎学力
⑵　外国語の中でも特に英語の基礎学力
⑶　地歴・公民における社会科学の基礎知識
⑷　数学の基礎学力
⑸　理科における自然科学の基礎知識
⑹　その他学科の特色に応じて求められる能力

３　入学者選抜の基本方針

大学入試センター試験では幅広い基礎学力が身についているかどうかを判定します。
個別学力検査では学科ごとの教育内容と入試の特色に応じて必要な意欲・関心につき判定します。

【法経社会学科】

教育目標

法経社会学科は，社会科学に関する基礎的体系的な知識を修得し，幅広い視野の下で身につけた法学，社会学，経済学などの社会科学の素養を，地域の問題発見と課題解決に積極的に活用できる人材の育成を目標としています。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

⑴　社会科学の幅広い知識の修得を目指している人
⑵　地域社会や国際社会における問題発見とその問題解決に関心のある人
⑶　社会の抱える問題に強い関心をもち，主体的に学習する姿勢をもっている人

入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴　国語・英語の学習による読解力および表現力
⑵　社会科学を学ぶ上で必要な地理歴史・公民，理科の基礎知識
⑶　数学の基礎学力とその学習による論理的思考能力

入学者選抜の基本方針

大学入試センター試験を課すとともに，個別学力検査として，法学コースでは，「面接」，地域社会コースおよび経済コースでは，「小論文および面接」（商業科・総合学科）または「小論文」（全学科）を課します。法学コースでは，学習意欲，社会の諸問題に対する高い関心，基礎的な表現力を有している入学者を選抜します。地域社会コースおよび経済コースでは，広く社会の諸事象に対して関心をもち，読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

〈法学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

⑴ 社会の仕組みや外国語を学ぶうえで必要な基礎学力に加え，地歴・公民分野における高等学校教科書レベルの知識を備える人

⑵ 法学および政治学の専門的知識の体系的な学習とともに，外国語および多様な学問分野を横断した幅広い知識の修得に意欲のある人

⑶ 問題発見・解決能力を踏まえて，実践的な法解釈力，政策立案能力を向上させ，国際知識を修得することに意欲がある人

⑷ 社会規範を尊重し，地域・社会貢献に意欲がある人

⑸ 法および政治に関わる社会的問題について強い興味と関心をもち，主体的に継続して学習できる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 国語と外国語の学習による読解力と表現力

⑵ 地歴・公民や理科の学習による，法学・政治学・政策学を学ぶ上で必要となる基礎知識

⑶ 数学の学習による論理的思考能力

⑷ 日常的に新聞や書籍を読むことによる高い社会的関心

入学者選抜の基本方針

大学入試センター試験での幅広い基礎学力を測ることと併せて，個別学力検査では面接試験を課し，学習意欲，社会の諸問題に対する高い関心，基礎的な表現力を測ることに加えて，出身高等学校の調査書，高等学校長の推薦書および自己推薦書を総合的に判定します。

〈地域社会コース・経済コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

地域社会コース・経済コースは，国際化の進展に伴い複雑化・多様化する経済社会のなかで地域社会からの要請に応えることができる人材の養成を教育目標にしています。具体的には，情報を創造的に活用し，地域的・国際的な視野から問題を発見し解決することのできる人材を求めています。

⑴ 高等学校までの基礎的な学習内容をしっかりと修得している人

⑵ 地域的および国際的な社会・経済問題に対して常に関心をもち，解決しようという意欲のある人

⑶ 新しい課題に積極的に取り組み，自らを成長させようという意欲のある人

入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 国語・英語の読解力・表現力

⑵ 地理歴史・公民，理科の基礎知識

⑶ 数学の基礎学力

入学者選抜の基本方針

「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」を対象とする推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験のほかに小論文および面接を課し，「全学科」を対象とする推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験のほかに小論文を課すことによって，広く社会の諸事象に対して関心をもち，読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

【人文学科】

教育目標

地域および世界の多元的な文化，歴史，環境への深い造詣に基づき，広い視野に立って，地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる人材，人間の心と行動への深い造詣に基づき，心理的支援によって地域に貢献できる人材，心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材の養成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

⑴ 日本を含む世界各地の文化･歴史･環境や人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
⑵ 柔軟な発想力と，適切な論理の展開能力，表現力を備えている人
⑶ 学習する上で必要となる言語能力や論理的思考力，批判的分析力を備えている人
⑷ 社会や歴史，思想，文化，環境，科学に関する基礎知識を幅広く習得している人
⑸ 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人

入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力，批判的分析力
⑵ 地理歴史や公民，理科の学習による社会や歴史，思想，文化，環境に関する幅広い基礎知識
⑶ 数学の学習による数理的処理の基礎

入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱにおいては，地域および世界の諸文化や心理学に強い関心を持ち，柔軟な発想力と，適切な論理の展開能力，表現力を備えているかという点を重視し，大学入試センター試験，面接，小論文，出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

〈多元地域文化コース＞

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

⑴ 日本を含む世界各地の文化･歴史･環境について学ぶ強い意欲を持つ人
⑵ 柔軟な発想力と，適切な論理の展開能力，表現力を備えている人
⑶ 学習する上で必要となる言語能力や論理的思考力，批判的分析力を備えている人
⑷ 社会や歴史，思想，文化，環境に関する基礎知識を幅広く習得している人
⑸ 数理的処理の基礎を学んでいる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力，批判的分析力
⑵ 地理歴史や公民，理科の学習による社会や歴史，思想，文化，環境に関する幅広い基礎知識
⑶ 数学の学習による数理的処理の基礎

入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱにおいては，地域および世界の諸文化に強い関心を持ち，柔軟な発想力と，適切な論理の展開能力，表現力を備えているかという点を重視し，大学入試センター試験，小論文，出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

〈心理学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

⑴ 人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
⑵ 互いを尊重し思いやる心と高いコミュニケーション能力を備えている人
⑶ 学習する上で必要となる言語能力や思考力，および基礎的学力を備えている人
⑷ 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人
⑸ 社会や歴史，思想，文化，環境，科学に関する基礎知識を幅広く習得している人

入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力，批判的分析力
⑵ 数学の学習による数理的処理の基礎

⑶ 地理歴史や公民，理科の学習による社会や歴史，思想，文化，環境に関する幅広い基礎知識
⑷ 「総合学習」や「問題解決型学習」による問題解決や探究活動に主体的，創造的，協同的に取り組む態度

入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱにおいては，心理学に強い関心を持ち，柔軟な発想力と論理的思考力，高いコミュニケーション能力を備えているかという点を重視し，大学入試センター試験，面接，出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

教育学部

教育目標

鹿児島大学の教育目標や教育学部の目的をうけて，教育学部では，次のような人材の育成を目標とする。

学校教育を取り巻く諸課題に対して，理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教育者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

教育学部では，「学校教育を取り巻く諸課題に対して，理論的かつ実践的に探求することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教育者」の育成を目的としています。このようなことから，次のような人を求めています。

⑴ 幼稚園，小学校，中学校，高等学校や特別支援学校等の教員になりたいという志望が強く明確な人
⑵ 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
⑶ 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
⑷ 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
⑸ 自分の人間性を高めるために，たゆまず持続的に努力する人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

学校教育に関わる教員は，専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められています。また，本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため，入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

⑴ 学校教育の教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
⑵ 学校現場での実習に際し，児童・生徒の模範となれる規範意識
⑶ 規則正しい生活習慣
⑷ 様々な人と関わるための基本的マナー
⑸ 身近な事柄を知識と結びつける能力や，他者と協働する姿勢

３　入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，面接及び調査書の成績の総合得点により行い，高等学校で学んだ学力を重視し，教育に貢献する意思と情熱をもちコミュニケーション能力豊かな人を評価します。

【学校教育教員養成課程】

教育目標

学校教育教員養成課程では，教職に関する高度な専門性と優れた実践的指導力を有し，次世代を担う児童・生徒の育成に貢献できる教員の育成を教育目標にしている。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

人間を取り巻く物理的・社会的環境の急激な変化やますます多様化する価値観の変化のなか，学校教

育の場で活躍しようとする教員にはこれまでにも増して幅広い視野と高度の専門性が求められています。学校教育教員養成課程においては，学校教育における各教科等に対応する種々の専門分野のいずれか１つに対する高度の専門性を身につけると同時に，広く社会を見渡す確かな視座と学習者の多様なニーズに可能な限り応えられる，幅広く確かな教養の両方を備えることが強く求められます。したがって，学校教育教員養成課程では，次のような人を求めています。

⑴ 子どもと関わることを好み，「教育」の問題に情熱を注げる人
⑵ 自分の得意とする専門分野において高い関心をもち，学校教育に関連して，その分野における知見や技術の一層の高度化に高い意欲をもつ人
⑶ 人間生活全般への鋭い問題意識をもち，子どもの発達に対する援助者，文化の確かな伝達者として子どもや自分自身の可能性を高めることに力を発揮できる人
⑷ 自分の得意分野だけでなく，幼稚園，小学校，中学校，高等学校および特別支援学校等，学校教育の教員としての実践的指導力に関わる幅広く確かな基礎学力を有している人

（初等教育コース 一般）

初等教育コース 一般では，次の４つの条件をすべて満たす人を求めています。

⑴ 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
⑵ 初等教育に強い関心のある人
⑶ 十分な基礎学力と広く一般的な知識を有する人
⑷ 論理的な思考力と児童や周囲の人々とのコミュニケーション能力をもつ人

（初等教育コース 音楽）

初等教育コース 音楽では，次の４つの条件をすべて満たす人を求めています。

⑴ 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
⑵ 音楽の教育に強い関心のある人
⑶ 十分な基礎学力と広く一般的な知識，合わせて音楽的活動の実績を有する人
⑷ 豊かな音楽的感性とコミュニケーション能力をもつ人

（初等教育コース 保健体育）

初等教育コース 保健体育では，次の４つの条件をすべて満たす人を求めています。

⑴ 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
⑵ 体育の教育に強い関心のある人
⑶ 十分な基礎学力を有し，スポーツ活動において優れた能力をもつ人
⑷ 論理的な思考力と児童や周囲の人々とのコミュニケーション能力をもつ人

（中等教育コース 国語）

中等教育コース 国語では，次の４つの条件をすべて満たす人を求めています。

⑴ 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
⑵ 言語コミュニケーションおよび国語教育に対する強い関心をもつ人
⑶ 十分な基礎学力と広く一般的な知識とを有する人
⑷ 文献資料の読解を通じて自ら学ぼうとする姿勢，論理的な思考力と表現力をもつ人

（中等教育コース 社会）

中等教育コース 社会では，次の４つの条件をすべて満たす人を求めています。

⑴ 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
⑵ 社会科，地理歴史科，公民科およびそれらの教育に強い関心のある人
⑶ 文献や史料の読解，フィールド調査に積極的に取り組む姿勢をもつ人
⑷ 論理的な思考力とコミュニケーション能力をもつ人

（中等教育コース 英語）

中等教育コース 英語では，高等学校の成績が優秀で，次の4つの条件をすべて満たす学生を求めています。

⑴ 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
⑵ 言語コミュニケーションおよび英語（外国語）教育に対する強い関心をもつ人
⑶ 充分な基礎学力と広く一般的な知識を有する人
⑷ 論理的な思考力とコミュニケーション能力をもつ人

（中等教育コース 数学）

中等教育コース 数学では，次の4 つの条件をすべて満たす人を求めています。

⑴ 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
⑵ 算数・数学の教育に強い関心のある人
⑶ 論理的な思考力とコミュニケーション能力のある人
⑷ 数学を自主的に学ぶ努力を持続できる人

（中等教育コース 理科）

中等教育コース 理科では，身の周りの自然現象を科学的にとらえる力をもち，それを教育に生かせる人材の育成を目指しています。したがって，将来教員を目指す意志と熱意をもち，十分な基礎学力を有していることに加えて，以下の条件を満たす人を求めています。

⑴ 論理的な思考力の素地を有している人
⑵ 十分なコミュニケーション能力の素地を有している人
⑶ 実験・観察に積極的に取り組む意思を有している人
⑷ 常に創意・工夫する意欲を有している人

（中等教育コース 美術）

中等教育コース 美術では，絵画，彫塑，デザイン，工芸，美術理論及び美術史，美術教育学の各領域の理論的な研究や実践的な制作活動を通して，美術及び美術教育のあり方について探求しています。

そのため，次のような人を求めています。

⑴ 将来，美術の教員になる強い意志があり，美術の楽しさを児童・生徒に伝えたい人
⑵ 美術への興味・関心が高く，美術の各領域において専門性を深めていく意欲のある人

２ 入学前に身につけておいて欲しいこと

本課程は，小学校教員一種免許状または中学校教員一種免許状を取得し，将来教育に携わる人材の育成を目的としています。在学中に教育に関する様々な知識・技能を学ぶとともに，附属学校等において児童・生徒や教員と関わる機会が多くあります。そのため，入学に際して以下のことを身につけておくことが望まれます。

⑴ 学校教育の教員として必要な専門知識を学ぶための幅広い基礎学力
⑵ 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
⑶ 規則正しい生活習慣
⑷ 様々な人と関わるための基本的マナー
⑸ 多様な課題に自律的に取り組む姿勢

３ 入学者選抜の基本方針

学部の入学者選抜の基本方針を参照

理学部

教育目標

理学部は多様な科学的問題に対応できる幅広い課題探求能力の育成を図ることを目標とし，次のような人材の育成を目指します。

⑴ 創造的で指導的な役割を担う専門的職業人として活躍できる人材
⑵ 未知の課題に挑戦する研究者・技術者として活躍できる高度な研究能力を有する人材

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴ 自然科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており，数学と理科に高い学力を有する人
⑵ 課題の発見と解決に積極的に取り組み，知的好奇心や探究心の旺盛な人
⑶ 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて，自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 高等学校で学ぶ国語，外国語等の基礎学力に加えて，理学科で必要とされる数学と理科の高い学力を身に付けてください。分からないことがあれば積極的に調べ，それでも分からないときは質問する習慣を身に付けてください。
⑵ 高等学校で学ぶ教科の学習や，課外活動などの様々な体験を通じて，論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

３　入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験によって基礎学力が身に付いているかを判定し，個別学力検査等で面接を課し，志望動機，学習意欲，基礎学力などについて，調査書の内容も含めて判定します。

【化学プログラム】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴ 化学に関する基礎的な知識と理解力を備えており，数学と理科に高い学力を有する人
⑵ 課題の発見と解決に積極的に取り組み，知的好奇心や探究心の旺盛な人
⑶ 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて，自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 高等学校で学ぶ国語，外国語，数学，理科，地理歴史，公民の基礎学力に加えて，化学プログラムで行われる専門教育を理解するために数学，化学を中心に，生物学及び物理学など自然科学に関する高い学力を身に付けておいてください。
⑵ 高等学校で学ぶ教科の学習や，課外活動などの様々な体験を通じて，論理的な思考能力と表現力を身に付けておいてください。

３　入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験によって基礎学力が身に付いているかを判定し，個別学力検査で面接を課し，志望動機，学習意欲，基礎学力などについて，調査書の内容も含めて判定します。

【生物学プログラム】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

⑴ 生物学に関する基礎的な知識と理解力を備えており，数学と理科に高い学力を有する人
⑵ 課題の発見と解決に積極的に取り組み，知的好奇心や探究心の旺盛な人
⑶ 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて，自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

２．入学前に身に付けておいて欲しいこと

⑴ 高等学校で学ぶ国語，外国語，数学，理科，地理歴史，公民の基礎学力に加えて，生物学プログラムで行われる専門教育を理解するために数学，化学，生物学を中心に自然科学及び物理学に関する高い学力を身に付けてください。
⑵ 高等学校で学ぶ教科の学習や，課外活動などの様々な体験を通じて，論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験によって基礎学力が身に付いているかを判定し，個別学力検査で面接を課し，志望動機，学習意欲，基礎学力などについて，調査書の内容も含めて判定します。

【地球科学プログラム】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

⑴ 地球科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており，数学と理科に高い学力を有する人
⑵ 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて，課題の発見と解決に積極的に取り組むことのできる人
⑶ 地球科学に対する強い関心と高い学習意欲を持つ人
⑷ 室内での実験・観察や，野外調査に興味を持つ人

２．入学前に身に付けておいて欲しいこと

⑴ 高等学校で学ぶ国語・外国語等の基礎学力に加えて，数学及び理科の高い学力を身に付けてください。分からないことがあれば積極的に調べ，それでも分からないときは質問する習慣を身に付けてください。
⑵ 高等学校で学ぶ教科の学習や，課外活動などの様々な体験を通じて，論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験によって基礎学力が身に付いているかを判定し，個別学力検査で面接を課し，志望動機，学習意欲，基礎学力などについて，調査書の内容も含めて判定します。

医 学 部

教育目標

医学部は，全人的医療を実践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目指します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴ 思いやりのある人
⑵ 幅広い基礎知識を有する人
⑶ 人の生命や社会に深い関心をもつ人
⑷ 探究心があり，物事に積極的に取り組む人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴ 基礎的な学力
⑵ コミュニケーション能力
⑶ 医療への関心
⑷ 人を思いやる心
⑸ 物事に対する責任感
⑹ 探究心
⑺ 論理的な思考力

３　入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，医学科は大学入試センター試験および面接により，基礎学力ならびに適性を判定します。

【医学科】

教育目標

医学科は，以下の能力をともに有した人材を育成します。

⑴ 人を尊重し，人と地域社会のため最善の医療を実践する優れた臨床医
⑵ 科学的思考力を有し，生涯学習し，医学，医療及び社会の発展に貢献する医師及び医学研究者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

高校で学ぶ理科，数学，外国語，国語，社会の基礎学力と学校と社会生活の中で養った資質として，

⑴ 自然界や人間社会についての幅広い基礎学力と問題解決力
⑵ 医療や医学，生命科学などに対する関心
⑶ 地域や国際社会への関心と社会に貢献する意欲
⑷ 互いを尊重し，思いやりいたわる心
⑸ 話を正確に聞き，自分の意見を論理的に伝える能力
⑹ 学習意欲があり，自主的に学習する力と習慣
を備えている人。

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語，数学，理科，社会，外国語などの幅広い基礎学力のほか，保健体育，芸術，技術家庭などの教養，特に理科，英語の高い知識・能力が必要となります。また，総合学習や問題基盤型学習を行う能力を身につけておくことも必要です。

３　入学者選抜の基本方針

高校の学習の到達度は，大学入試センター試験で評価します。その他の必要とする資質・能力は，面接試験で評価します。また,鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱も評価します。

歯学部

教育目標

歯学部は「歯科医療人である前に良識豊かな人間であれ」という理念のもとに，下記の教育目標を達成します。

⑴ 全人的歯科医療を実践しうる歯学分野における幅広い知識と創造性に富む歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
⑵ 地域医療に貢献しうる幅広い識見と人間性豊かな使命感にあふれる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
⑶ 国際社会においても卓越した貢献をなしうる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴ 生命への強い関心，人間としてのモラル，奉仕精神にあふれる人
⑵ 歯科医学の知識や技能を十分理解・修得できる基礎学力のある人
⑶ 歯科医学に興味を持ち，科学的探究心の豊かな人
⑷ 幅広い視野と柔軟な感性を持ち，常に考え行動する資質のある人
⑸ 歯科医療人として社会に貢献しようとする強い意欲を持つ人

さらに，推薦入試Ⅱによる入学者として，歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ人を望んでいます。

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語，数学，理科，地歴，公民，英語などの幅広い基礎学力のほか，特に数学，理科，英語の高い知識・能力

３　入学者選抜の基本方針

大学入試センター試験では，幅広い基礎学力が身についているかどうかを判定します。個別学力検査では，教育内容と入試の特色に応じて必要な学力や意欲・関心・適性に基づき判定します。

工学部

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は，高度な専門職業人の養成教育において，ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し，困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士（工学)」の育成を目指します。そのため，次の教育の目標を掲げます。

⑴「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に，幅広い

教養と高度な専門能力を育みます。
⑵ 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより，人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。
⑶ 高度な工学技術や知識を，実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。
⑷ 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき，自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。
⑸ 社会的な責任を担いつつ，グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１ 求める人材像

工学部は，本学部の教育目標に共感できる次のような人を，国内外から広く求めています。
⑴ 工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
⑵ 工学の面白さを学びたい，ものづくりに取り組んでみたい，技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
⑶ 自ら考え，主体的に学修する目的意識が明確で，そのための学修意欲が高い人

２ 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，特に各学科の各プログラムでの専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３ 入学者選抜の基本方針

「推薦入試 II」では，大学入試センター試験に加え，個別学力検査で面接などを課し，高校の調査書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【先進工学科】

教育目標

工学部の教育目標を受けて，イノベーション創出の素養を持った人材の育成のために，次の教育目標を掲げます。
⑴ 技術者の使命感と倫理観を持って工学の諸課題に挑戦する能力を養います。
⑵ 工学分野全体を把握し，幅広い視野で諸課題を解決する能力を養います。
⑶ 専門分野の基礎知識を体系的に修得することにより，基礎的学力，論理的思考力を養います。
⑷ 複数分野の融合領域を修得することにより，イノベーション創出のための先進性を培う創造的思考力を養います。
⑸ 高度情報化社会を生き抜くための情報基盤力を養います。
⑹ 地域社会及び国際社会において活躍し続けるためのコミュニケーション力，デザイン力，生涯学習力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１ 求める人材像

⑴ 工学専門分野を修得できる基礎学力を有し，主体的に学修する意欲がある人
⑵ イノベーション創出のための技術開発に挑戦したいという情熱を持っている人
⑶ 工学のものづくりに興味を持ち，創造力，技術力で地域社会や国際社会に貢献する夢をもつ人
⑷ 自ら考え，主体的に学修する目的意識を有する人

２ 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，特に各プログラムでの専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３ 入学者選抜の基本方針

「推薦入試II」では，大学入試センター試験に加え，個別学力検査で面接などを課し，高校の調査書

を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【先進工学科　機械工学プログラム】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するため，以下を教育目標にしています。

⑴ 人類の幸福と福祉，エネルギーと環境，人間と社会などの調和を洞察できる能力を身に付けます。
⑵ 国際的な場で活用できる外国語の基礎的な能力を身に付けます。
⑶ 数学や自然科学の基礎の基に，工学的基礎に関する知識を身に付けます。
⑷ 機械工学の基礎学力を修得し，それらを問題解決に活用できる能力を身に付けます。
⑸ 機械工学の知識を総合的に応用して，工学的問題を自主的に分析し解決するデザイン能力を身に付けます。
⑹ 調査，討論，発表などを通じて自らの課題を発見し，それを解決する能力を身に付けます。
⑺ 自己の能力を主体的に生涯にわたって継続して向上できる能力を身に付けます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

機械工学プログラムでは，次世代を担う技術者・研究者の育成を目指しており，次のような人を国内外から広く求めています。

⑴ 機械工学プログラムの学位授与の方針を達成できる基礎学力を有し，論理的・物理的思考に対する素養がある人
⑵ 機械工学に大いに興味があり，真摯に学ぼうとする意欲，向上心・探究心にあふれる人
⑶ 高等学校生活等で培われた精神力と協調性があり，科学的発想などに豊かな感性がある人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語（英語）などの基礎学力のほか，中でも機械工学プログラムの専門教育に対応できる数学，理科（特に物理）の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験に加え，調査書及び面接の結果に基づいて，教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる基礎学力を評価します。

【先進工学科　電気電子工学プログラム】

教育目標

工学部の教育目標を受けて，電気電子工学プログラムでは次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

⑴ 基盤となる基礎教育を身につけ,発展的に将来の科学技術の進展に柔軟に対応する能力を養います。
⑵ 地球環境に配慮した高度情報化社会の基盤を支え，科学技術の発展と人類の幸福に貢献できる広範かつグローバルな思考力を養います。
⑶ 電気電子工学に関する知識に基づいて，論理的な思考，技術の応用と創造，問題の発見と解決ができる能力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材

電気電子工学プログラムでは，次のような向学・研究心あふれる人を求めています。

⑴ 電気電子工学プログラムの教育目標に共感し，それを実現できる基礎学力・意欲をもつ人
⑵ 研究・応用分野での最先端の知識・実践力を身につけ，社会で活躍したい人
⑶ 国際的コミュニケーション能力を身につけ，国際的に活躍したい人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，特に電気電子工学プログラムでの専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，普通科あるいはこれに準ずる学科を対象とし，大学入試センター試験で３教科４科目（数学II・数学Ｂ，物理・化学・生物・地学から２科目選択，英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語から１科目選択），個別学力検査で面接などを課し，高等学校の調査書を含め，培ってきた数学・物理・外国語の基礎能力，電気電子工学を学ぶ上で必要な基礎的事項に関する理解力，論理的思考力，学習意欲，目的意識について評価し選抜します。

【先進工学科　海洋土木工学プログラム】

教育目標

海洋土木工学プログラムは，以下に示す幅広い視野と高い倫理観及び海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材（技術者・研究者）を養成することを目的としています。そのため，次の教育目標を掲げます。

⑴ 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力を養成します。
⑵ エネルギーと環境，人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力を養成します。
⑶ 地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力を養成します。
⑷ 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力を養成します。
⑸ 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし，持続的な社会の発展に貢献できる能力を養成します。
⑹ 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力を養成します。
⑺ チームによる調査・討論・発表などを通じて，地域社会の課題を自主的に発見し，それを分析・解決できる能力を養成します。
⑻ 卒業後も主体的に学習を継続できる能力を養成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

海洋土木工学プログラムは，海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材の育成をめざしています。このような観点から，本プログラムでは次のような学生を求めています。

⑴ 高等学校で学ぶ数学・理科などの基礎学力を十分にもち，論理的思考の好きな人
⑵ 持続可能な国土・海洋の開発と保全に関する話題に関心をもち，関連分野で活躍したい人
⑶ 自然環境と人間社会との調和・共生に関わる技術開発に興味と情熱をもつ人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，特に海洋土木工学プログラムでの専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験に加え，個別学力検査で面接を課し，高校の調査書を含め，専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識と基礎学力，海洋土木工学への興味と学習意欲などを評価し選抜します。

【先進工学科　化学工学プログラム】

教育目標

工学部の教育目標を受けて，化学工学プログラムでは次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

⑴ 人類の持続可能な共生社会創出のため,国際的視野から多様な地域社会に寄与できる豊かな人間性,社会性，高い倫理観をもつ人材

世界的な視点から文化・自然環境・地域社会を多面的に考え，より豊かで持続可能な人類社会の創出に寄与する科学技術の役割とその倫理的責任を良く理解した技術者・研究者になる。

⑵ 自然科学の基礎知識と教養，および確かな化学工学専門知識に基づく設計と応用によって人類社会に貢献できる人材

自然･数理科学及び技術に関する基礎知識と化学及びその関連分野の専門技術に関する応用能力を涵養し，専門技術者として工学的諸問題を解決できる技術者・研究者になる。

⑶ チーム内での役割を制約下で果たし，地域の文化や風土および産業と調和した工学技術をデザインできる人材

多様な地域社会の文化･風土･産業をよく理解し，それらと調和した化学工学技術を与えられた制約内で設計し，チーム内での役割を果たせる能力を備えた技術者・研究者になる。

⑷ 国際的な情報交換と協調および生涯にわたる自己研鑽によって，社会の要請する新技術の開拓に積極的に貢献できる人材

科学や技術の進歩に対応して自発的に研鑽し生涯学習に努め，多くの専門分野の人々と日本語ならびに英語による文書・口頭あるいは情報メディア等による基本的かつ効率的なコミュニケーションができる技術者・研究者になる。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

化学工学プログラムではアドミッションポリシー（入学者受入方針）として，本プログラムの教育目標の観点から，化学，物理，数学，英語についての基礎的能力を有している次のような学生を求めています。

⑴ 環境と調和した社会の創出に共感し，それを実現するための科学の基礎知識と意欲をもつ人

⑵ 化学工学的視野から公共の福祉や持続可能な人類社会の創出に自主的，継続的に貢献する意欲のある人

⑶ コミュニケーション力や協調性を養い，世界に視野を向けて様々な問題に取り組むことに関心のある人

⑷ 化学工学の専門技術を身につけ，高い倫理観をもって研究開発を通して地域社会へ寄与することをめざす人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，特に本プログラムの専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験の成績，高校在学時の成績，学習意欲，目的意識，適性などを評価し選抜します。

【先進工学科　化学生命工学プログラム】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

⑴ 豊かな人間性と社会性による倫理観を備え，国際的視野のもと，自然・環境の摂理と諸科学の基礎知識を吸収して共生する能力を養成します。

⑵ 数学，工学基礎や情報処理技術及び化学工学に関する基礎知識と能力を養成します。

⑶ 化学と生物の知識を柔軟に駆使し，新材料やバイオ技術，薬の創製と評価に生かせる能力を養成します。

⑷ 日常的・国際的コミュニケーション能力を養成します。

⑸ フレッシュマンセミナー，学生実験，演習，卒業研究・講座ゼミ，学外実習・工場見学等を通じ，

与えられた要求に対して，知識・技術を駆使して総合的に判断し，実現可能な解決方法を提案できるデザイン能力を養成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

化学生命工学プログラムでは，化学の知識を役立てることにより，地球環境や生命との調和を図りつつ人類社会の持続的発展に寄与できる人材の育成をめざしています。特に化学・生物についての十分な学力を有し,勉学意欲があり,広範な視野と柔軟性を備え,積極性に富む次のような学生を求めています。

⑴ 新物質や機能材料の創製に意欲のある人
⑵ バイオテクノロジーに興味をもち，医薬や医用材料の創製に意欲のある人
⑶ 分析や化学計測に関心をもつ人
⑷ 環境保全やエネルギーなどに興味をもつ人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験に加え，個別学力検査で面接を課し，高校の調査書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【先進工学科　情報・生体工学プログラム】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

⑴ 技術者の使命と倫理
豊かな人間性と社会性を備え，自然科学，工学および情報技術の発達が社会と自然におよぼす影響と技術者の責任についてグローバルな視点から理解し，考えられる人材

⑵ 基礎学力
情報・生体工学の基礎となる数学，物理学や情報システム基礎などの基礎学力を身につけ，その知識を問題解決のために応用できる人材

⑶ ソフトウェアの知識と応用力
プログラミング，ソフトウェア工学とその関連分野の理論と応用を学び，プログラミング能力とソフトウェア開発のための能力を持つ人材

⑷ 情報システムの知識と応用力
計算機システム，情報ネットワークとその関連分野の理論と応用を学び，システムを構築できる人材

⑸ 情報・生体工学の専門知識と応用力
情報システムや認知・生体システムにおけるより専門性の高い知識と応用を学ぶことができる人材

⑹ コミュニケーション能力
正しい日本語による論理的記述力，発表能力，コミュニケーション能力や，英語による基本的なコミュニケーション能力を持つ人材

⑺ デザイン能力
現状分析と問題点抽出のための情報収集能力や自主的で継続的な学習姿勢と，解決に至る計画を自ら立案し遂行できる人材

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

情報・生体工学プログラムは，本プログラムの教育目標に共感できる次のような人を，国内外から広く求めています。

⑴ 情報・生体工学プログラムの学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
⑵ 工学の面白さを学びたい，ものづくりに取り組んでみたい，技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
⑶ 自ら考え，主体的に学修する目的意識が明確で，そのための学修意欲が高い人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，特に情報・生体工学プログラムでの専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試Ⅱでは，大学入試センター試験および高校の調査書に加え，個別学力検査で面接を課し，大学での情報工学・生体工学の先端技術を学ぶ上で必要となる基礎知識と理解力，表現能力，勉学意欲等を評価し選抜します。

【建築学科　建築学プログラム】

教育目標

建築学科では，工学部の教育目標を受けて，包括的な教育を基盤とした建築学総合プログラムとして，次の具体的な教育目標を掲げています。

⑴ 建築技術者としての使命感と倫理観を持ち，幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力を養います。
⑵ 建築における基本的な考え方を理解し，工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力を養います。
⑶ 新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して，創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養います。
⑷ 地域社会及び国際社会の建築に関する場で活動できる情報発信力，コミュニケーション力，及びチームで仕事をすることができる能力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

建築の役割は，個々の建物から都市までを対象として，学術と技術と芸術の３つの面を融合して，人々に快適な空間を創造することです。建築学科では，国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語に関する基礎学力を有し，科学と芸術と社会の広い分野に関心を持つ次のような学生を求めています。

⑴ 建築を造りたいという情熱を持っている人
⑵ 建築に関する自然科学・人文社会科学・芸術の分野に幅広く関心を持ち，自らの強みを活かし主体的に学修する意欲がある人
⑶ 建築と人間や社会，環境との関係に興味がある人
⑷ 建築デザインの分野で素養を活かしたいと考えている人
⑸ 安全で美しく快適な建築を造る技術に関心のある人
⑹ 建築士などの資格を取得し，地域社会や国際社会に貢献する夢をもつ人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，建築学科での専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

推薦入試IIでは，（ア）文系科目重視型，（イ）理系科目重視型，（ウ）実技試験型の３つの募集枠を設けています。大学入試センター試験に加え，個別学力検査として（ア）（イ）は面接を，（ウ）は空間を構成する造形物の制作とそれに関する描画を行う試験を課し，高校の調査書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

共同獣医学部

【獣医学科】

教育目標

国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに，学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成し，幅広い見識と倫理観を持って人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い，問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで，地域に根ざすとともに社会のニーズに対応した，人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出することを教育目標としています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

共同獣医学部では，発展・進化する獣医科学に取り組む知識欲と探求心，これを実践・活用する論理性と創造力，及びチーム活動と共生社会形成のためのコミュニケーション能力の素養を備えた，次のような学生を求めています。

⑴ 獣医師の幅広い職責について理解し，獣医学を志す明確な目的意識を有する人

⑵ 自然科学，人文・社会科学及び語学に関する基礎教科を満遍なく学習し，獣医学の知識や技術を充分に理解，修得するための基礎学力を身につけている人

⑶ 人と動物の健全な共生社会実現のために積極的に取り組む意思を有し，社会的にコミュニケーションがとれる人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

大学入試センター試験で課す教科・科目における十分な基礎学力と思考力が必要になります。また，小論文及び面接においては自分の考えを明確に表現する能力を身につけておく必要があります。

３　入学者選抜の基本方針

高等学校の学習成績概評がＡ以上の者について，大学入試センター試験で５教科７科目を課すとともに，個別学力検査で小論文及び面接を課し，基礎学力，志望動機，勉学意欲，理解力，分析力，論理的思考力，表現力，適正を評価します。

Ⅰ　募集人員，対象となる高等学校の学科等及び推薦人員

学　部	学　科　等		募集人員	対象となる高等学校の学科等	高等学校からの推　薦　人　員
法文学部	法経社会学科	法学コース	10人	全学科	各校から２人以内
		地域社会コース・経済コース	７人	商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科	各校から２人以内
			30人	全学科	各校から２人以内
	人文学科	多元地域文化ｺｰｽ	25人	全学科	各校から２人以内
		心理学コース	８人	全学科	各校から２人以内
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース　一般	10人	全学科	各校から２人以内
		初等教育コース　音楽	５人	全学科	各校から２人以内
		初等教育コース　保健体育	９人	全学科	各校から３人以内
		中等教育コース　国語	３人	全学科	各校から２人以内
		中等教育コース　社会	２人	全学科	各校から２人以内
		中等教育コース　英語	２人	全学科	各校から２人以内
		中等教育コース　数学	２人	全学科	各校から２人以内
		中等教育コース　理科	３人	全学科	各校から２人以内
		中等教育コース　美術	２人	全学科	各校から２人以内
理学部	理学科	化学プログラム	７人	全学科	各校から２人以内
		生物学プログラム	７人	全学科	各校から２人以内
		地球科学プログラム	６人	全学科	各校から２人以内
医学部	医学科		15人(注1)	全学科	各校から５人以内
歯学部	歯学科		５人	全学科	各校から２人以内
工学部	先進工学科	機械工学プログラム	10人	全学科	各校から２人以内
		電気電子工学プログラム	８人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から２人以内
		海洋土木工学プログラム	２人	高等学校設置基準第５条第２号に規定する「専門教育を主とする学科」のうち職業教育を主とする学科及び同条第３号に規定する総合学科（注2）	各校とも各科から２人以内
		海洋土木工学プログラム	８人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から２人以内
		化学工学プログラム	６人	全学科	各校から２人以内
		化学生命工学プログラム	８人	全学科	各校から２人以内
		情報･生体工学プログラム	４人	高等学校設置基準第５条第２号に規定する「専門教育を主とする学科」のうち職業教育を主とする学科及び同条第３号に規定する総合学科（注2）	各校から２人以内
		情報･生体工学プログラム	10人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から２人以内
	建築学科	建築学プログラム	ｱ 4人(注3)	全学科	各校から２人以内
		建築学プログラム	ｲ 4人(注4)	全学科	各校から２人以内
		建築学プログラム	ｳ 3人(注5)	全学科	各校から２人以内
共同獣医学部	獣医学科		２人	全学科	各校から２人以内

※　推薦入試Ⅱの合格者が募集人員に満たない場合は，その欠員は一般入試（前期日程）の募集人員に加えます。（教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽及び保健体育の合格者が募集人員に満たない場合は，その欠員は，一般入試（前期日程）の初等教育コース（一般）の募集人員に加えます。）

(注1)　医学部医学科の募集人員については,「医学部臨時定員増」の申請中です。確定し次第,鹿児島大学ホームページの入試案内,インフォメーションでお知らせします。

(注2)　総合学科については，履修科目を確認の上，判断するので，事前に文書により問い合わせてください。

(注3)　ア 文系科目重視型，(注4)　イ 理系科目重視型，(注5)　ウ 実技試験型

Ⅱ　推薦要件（対象者）

次の各号に該当する者で，志願学部・学科等が指定する令和２年度（2020年度）大学入学者選抜大学入試センター試験の所定の教科・科目（24～29頁参照）を受験し，高等学校（中等教育学校，高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）の学業成績・人物が優秀で，更に，高度の学業を修得する熱意と能力を有し，高等学校長（中等教育学校長，高等部を置く特別支援学校の長及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設の長を含む。以下同じ。）が責任をもって推薦できるもの。

なお，過去の大学入試センター試験の成績については，令和２年度（2020年度）入学者選抜には利用しません。

１　対象となる高等学校の学科に在学し，令和２年（2020年）３月卒業見込みの者

ただし，教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術及び理学部理学科は，平成31年３月に高等学校を卒業した者及び令和２年（2020年）３月に高等学校を卒業見込みの者

医学部医学科は鹿児島県内の高等学校を卒業した者及び鹿児島県内の高等学校を令和２年度（2020年度）３月卒業見込みの者

歯学部歯学科は高等学校を平成31年３月以降に卒業した者及び令和２年（2020年）３月卒業見込みの者

２　**合格した場合は，入学することを確約できる者**

３　次表に掲げる学部・学科等にあっては，次表の推薦要件も満たさなければならない。

学部	学科等			推薦要件
法文学部	法経社会学科	地域社会コース・経済コース		**「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」を対象として実施するもの** 高等学校の学習成績概評がＡ以上である者 全国商業高等学校協会（全商）の簿記実務検定，情報処理検定のうちいずれかの１級又はそれに相当する資格を取得していることが望ましい。 総合学科については，商業に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む。）者
				「全学科」を対象として実施するもの 高等学校の学習成績概評がＡ以上である者
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	高等学校の調査書の全体の評定平均値が4.1以上で，教員になる意欲と熱意がある者
			音楽	高等学校の調査書の全体の評定平均値が3.8以上である者 音楽への興味・関心が高く，勉学意欲があり，更に教員を強く志望する者 発表会やコンクールへの参加歴等（部活動や一般団体での活動を含む），音楽実技活動の実績がある者
			保健体育	高等学校の調査書の全体の評定平均値が3.8以上で，教員になる意欲と熱意がある者
		中等教育コース	国語	高等学校の学習成績概評がＡ以上で，教員になる意欲と熱意がある者
			社会	高等学校の調査書の全体の評定平均値が4.1以上で，教員になる意欲と熱意がある者
			英語	高等学校の調査書の全体の評定平均値が4.1以上で，教員になる意欲と熱意がある者
			数学	数学Ⅲ（理数科は理数数学Ⅱ）を履修していること。高等学校の調査書の全体の評定平均値が4.1以上であること。数学への興味・関心が高く，教員を強く志望する者
			理科	高等学校の調査書の全体の評定平均値が4.1以上で，教員になる意欲と熱意がある者
			美術	美術への興味・関心が高く，勉学意欲があり，更に教員になる強い意志を有する者
理学部	理学科	化学プログラム		化学への興味・関心が高い者
		生物学プログラム		生物学への興味・関心が高い者
		地球科学プログラム		地学への興味・関心が高い者
医学部	医学科			高等学校の学習成績概評がＡ以上で，鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者 入学後に「鹿児島県医師修学資金」の貸与を受け，大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者 ※医師修学資金貸与制度 鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し，修学に必要な資金を貸与することにより，地域医療を確保することを目的とする。 ※鹿児島県キャリア形成プログラム 医師が不足している地域における医師の確保と，対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に，原則９年間，鹿児島県が指定するへき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をする。
歯学部	歯学科			高等学校の学習成績概評がＡ以上である者 歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ者
共同獣医学部	獣医学科			高等学校の学習成績概評がＡ以上である者 獣医師になる強い意欲と情熱がある者

Ⅲ　入学者選抜方法

入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績及び本学が実施する小論文（工学部建築学科建築学プログラムの実技試験型では，空間構成），実技，面接及び調査書の成績の総合得点により行います。

高等学校長の推薦書は，選抜の際の基礎資料とします。ただし，法文学部法経社会学科法学コースと，地域社会コース・経済コースの「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」を対象として実施するものは，調査書及び自己推薦書を，また，法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コースの「全学科」を対象として実施するもの，理学部理学科化学プログラム，生物学プログラム，地球科学プログラム，医学部医学科，歯学部歯学科及び共同獣医学部獣医学科は，調査書をそれぞれの選抜の際の基礎資料とします。

教科・科目名の表記について

1　大学入試センター試験の利用教科・科目名は，次のように略しています。

○　国語→国
『国語』→「国」
○　地理歴史→地歴
「世界史Ａ」→「世Ａ」,「世界史Ｂ」→「世Ｂ」,「日本史Ａ」→「日Ａ」,
「日本史Ｂ」→「日Ｂ」,「地理Ａ」→「地理Ａ」,「地理Ｂ」→「地理Ｂ」
○　公民→公民
「現代社会」→「現社」,「倫理」→「倫」,「政治・経済」→「政経」,『倫理，政治・経済』→「倫・政経」
○　数学→数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」,『数学Ⅰ・数学Ａ』→「数Ⅰ・数Ａ」,
「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」,『数学Ⅱ・数学Ｂ』→「数Ⅱ・数Ｂ」,
『簿記・会計』→「簿」,『情報関係基礎』→「情報」
○　理科→理
「物理基礎」→「物基」,「化学基礎」→「化基」,「生物基礎」→「生基」,「地学基礎」→「地学基」,
「物理」→「物」,「化学」→「化」,「生物」→「生」,「地学」→「地学」
○　外国語→外
『英語』→「英」,『ドイツ語』→「独」,『フランス語』→「仏」,『中国語』→「中」,『韓国語』→「韓」

(注)『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2　大学入試センター試験の利用方法については，次の例のように利用教科・科目名，利用方法を示しています。

［例］

世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１科目を選択→　世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１

地歴
公民 } **から１教科１科目選択**　→　世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ
現社，倫，政経，倫・政経 } から１

数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂから１科目選択　計２科目選択
→　数Ⅰ・数Ａ
数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂから１

理科２又は３科目を選択　→　①物基，化基，生基，地学基から２
②物，化，生，地学から１又は２ } から２又は３

［理科については，①から２科目と②から１科目，又は②から２科目選択解答すること。］

※学科等により選択解答の方法が異なるため，［　］内の注意書をよく読むこと。

3　個別学力検査等の出題教科・科目名は，上記１と同様に略すほか，次のように略しています。
「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」,「数学Ａ」→「数Ａ」,「数学Ｂ」→「数Ｂ」,「コミュニケーション英語Ⅰ」→「コ英Ⅰ」,「コミュニケーション英語Ⅱ」→「コ英Ⅱ」,「英語表現Ⅰ」→「英表Ⅰ」,「英語表現Ⅱ」→「英表Ⅱ」

英語の外部英語検定試験の利用について

推薦入試Ⅱ，自己推薦型入試及び一般入試（前期日程・後期日程）で，大学入試センター試験「外国語」を課す学部･学科等について，外部英語試験で一定スコア基準(下表参照)を満たし，かつ，大学入試センター試験「外国語」を英語で受験し，英語筆記１６０点以上（２００点満点)，英語リスニング４０点以上（５０点満点）の得点をそれぞれ取った者の大学入試センター試験「外国語」の得点を，満点とみなす希望者優遇制度を設けます。

なお，英語筆記が１６０点未満，英語リスニングが４０点未満の場合は，それぞれの得点の２５％の点数（得点×０．２５（小数点第三位四捨五入））を加点します。

外部英語試験名	みなし満点とするスコア基準
Cambridge English（ケンブリッジ英検）	FCE 以上
実用英語技能検定	準1級以上
GTEC CBT	1250点以上
IELTS	5.5以上（Overall Band Score)
TEAP	334点以上
TOEFL iBT	72点以上
TOEIC L & R ／ TOEIC S & W	1095点以上 (L & R 785点以上及び S & W 310点以上)

※平成29～令和元年度実施分が対象（出願時までに取得したスコアに限る）

上記変更について，具体的な計算の例を次に示します。

例１）英語筆記，英語リスニングともみなし満点の基準点に達している
英語筆記：１６５点，英語リスニング：４５点の場合
→英語筆記：２００点（みなし満点)，英語リスニング：５０点（みなし満点)，
合計：２５０点となります。

例２）英語筆記はみなし満点の基準点に達しているが，英語リスニングはみなし満点の基準点に達していない
英語筆記：１６５点，リスニング：３５点の場合
→英語筆記：２００点（みなし満点)，リスニング：４３．７５点（３５点＋（３５点×０．２５))，
合計：２４３．７５点となります。

例３）英語筆記はみなし満点の基準点に達していないが，英語リスニングはみなし満点の基準点に達している
英語筆記：１４５点，英語リスニング：４５点の場合
→英語筆記：１８１．２５点（１４５点＋（１４５点×０．２５))，リスニング：５０点（みなし満点)，
合計：２３１．２５点となります。

例４）英語筆記，英語リスニングともみなし満点の基準に達していない
英語筆記：１４５点，リスニング：３５点の場合
→英語筆記：１８１．２５点（１４５点＋（１４５点×０．２５))，英語リスニング：４３．７５点（３５点＋（３５点×０．２５))，合計：２２５点となります。

Ⅳ　入学者選抜の実施教科・科目等

法文学部

（注）大学入試センター試験の「地歴」,「公民」及び「理」（物，化，生，地学）において，１科目のみを課している場合は，第1解答科目として選択解答すること。

学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
法経社会学科	法学コース	国 地歴公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ／倫・政経 から２ 数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂから１ ①物基，化基，生基，地学基から２ 又は ②物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］	その他	面接	センター試験	150	150	100	50	150					600
						個別学力検査								300		300
						計	150	150	100	50	150			300		900
	地域社会コース・経済コース （商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科）	国 地歴公民 数 外	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ／現社，倫，政経，倫・政経 から１ 数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ 英，独，仏，中，韓から１ ［４教科５科目］	その他	小論文及び面接	センター試験	150	150	150		150					600
						個別学力検査						1000		400		1400
						計	150	150	150		150	1000		400		2000
	地域社会コース・経済コース （全学科）	国 地歴公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ／現社，倫，政経，倫・政経 から２ 数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂから１ ①物基，化基，生基，地学基から２ 又は ②物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 公民（「現社」「倫」「政経」「倫・政経」）から２科目を選択解答することはできない。 ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］	その他	小論文	センター試験	150	100	150	50	150					600
						個別学力検査						900				900
						計	150	100	150	50	150	900				1500
人文学科	多元地域文化コース	国 地歴公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ／現社，倫，政経，倫・政経 から２ 数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂから１ ①物基，化基，生基，地学基から２ 又は ②物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 公民（「現社」「倫」「政経」「倫・政経」）から２科目を選択解答することはできない。 ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］	その他	小論文	センター試験	150	150	100	50	150					600
						個別学力検査						800			600	1400
						計	150	150	100	50	150	800			600	2000
	心理学コース	国 地歴公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ／現社，倫，政経，倫・政経 から２ 数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂから１ ①物基，化基，生基，地学基から２ 又は ②物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 公民（「現社」「倫」「政経」「倫・政経」）から２科目を選択解答することはできない。 ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］	その他	面接	センター試験	150	100	150	50	150					600
						個別学力検査								200	100	300
						計	150	100	150	50	150			200	100	900

教育学部

（配点の＊は30頁参照）

（注）大学入試センター試験の「地歴」，「公民」及び「理」（物，化，生，地学）において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答すること。

学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
学校教育教員養成課程	初等教育コース 一般	国 地歴 公民 数 理 外 **文系受験型**	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ／現社，倫，政経，倫・政経　から２ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報　から１又は２ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２　から３又は４ 英，独，仏，中，韓から１ 〔公民の「現社」を選択解答する場合，他の１科目は，「世Ａ」「世Ｂ」「日Ａ」「日Ｂ」「地理Ａ」「地理Ｂ」から選択解答すること。 数学から１科目選択解答する場合，理科は①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。 数学から２科目選択解答する場合，理科は①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。〕 ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］	その他	面接	センター試験	200	200	＊200	＊200	200					900
						個別学力検査								400	200	600
						計	200	200	＊200	＊200	200			400	200	1500
		国 地歴 公民 数 理 外 **理系受験型**	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ／現社，倫，政経，倫・政経　から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２　から２又は３ 英，独，仏，中，韓から１ 〔理科については，①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。ただし，同一名称を付した科目（「物基」と「物」，「化基」と「化」，「生基」と「生」，「地学基」と「地学」）の選択解答は認めない。〕 ［５教科７か８科目］	その他	面接	センター試験	200	100	200	200	200					900
						個別学力検査								400	200	600
						計	200	100	200	200	200			400	200	1500
	音楽	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ／現社，倫，政経，倫・政経　から２ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報　から１又は２ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２　から３又は４ 英，独，仏，中，韓から１	その他	実技及び面接	センター試験	200	200	＊200	＊200	200					900
						個別学力検査							300	300	300	900
						計	200	200	＊200	＊200	200		300	300	300	1800
	保健体育		〔数学から１科目選択解答する場合，理科は①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。 数学から２科目選択解答する場合，理科は①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。〕 ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］	その他	面接	センター試験	200	200	＊200	＊200	200					900
						個別学力検査								300	300	600
						計	200	200	＊200	＊200	200			300	300	1500

教育学部

（配点の＊は30頁参照）

（注）大学入試センター試験の「地歴」，「公民」及び「理」（物，化，生，地学）において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答すること。

学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
学校教育教員養成課程	中等教育コース	国語	国 地歴 公民 数 理 外 から２ から１又は２ から３又は４ 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ， 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ， 簿，情報 ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２ 英，独，仏，中，韓から１	その他	面接	センター試験	200	200	＊200	＊200	200					900
						個別学力検査								400	200	600
						計	200	200	＊200	＊200	200			400	200	1500
		社会	公民の「現社」を選択解答する場合，他の１科目は，「世Ａ」「世Ｂ」「日Ａ」「日Ｂ」「地理Ａ」「地理Ｂ」から選択解答すること。 数学から１科目選択解答する場合，理科は①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。 数学から２科目選択解答する場合，理科は①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。 ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］			センター試験	200	300	＊150	＊150	200					900
						個別学力検査								400	200	600
						計	200	300	＊150	＊150	200			400	200	1500
		英語	国 地歴 公民 数 理 外 から２ から１又は２ から３又は４ 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ， 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ， 簿，情報 ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２ 英，独，仏，中，韓から１	その他	面接	センター試験	200	200	＊150	＊150	300					900
						個別学力検査								400	200	600
						計	200	200	＊150	＊150	300			400	200	1500
			公民の「現社」を選択解答する場合，他の１科目は，「世Ａ」「世Ｂ」「日Ａ」「日Ｂ」「地理Ａ」「地理Ｂ」から選択解答すること。 数学から１科目選択解答する場合，理科は①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。 数学から２科目選択解答する場合，理科は①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。 ［５教科７か８科目又は６教科７か８科目］													
		数学	国 地歴 公民 数 理 外 から１ から１又は２ 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１	その他	面接	センター試験	200	100	400	100	100					900
						個別学力検査								400	200	600
			理科については，①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。 ［５教科６か７科目］			計	200	100	400	100	100			400	200	1500
		理科	国 地歴 公民 数 理 外 から１ から２又は３ 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報から１ ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１又は２ 英，独，仏，中，韓から１	その他	面接	センター試験	100	100	200	400	100					900
						個別学力検査								400	200	600
			理科については，①から２科目と②から１科目，又は，②から２科目選択解答すること。ただし，同一名称を付した科目（「物基」と「物」，「化基」と「化」，「生基」と「生」，「地学基」と「地」）の選択解答は認めない。 ［５教科７か８科目］			計	100	100	200	400	100			400	200	1500
		美術	国 地歴 公民 数 理 外 から２ から１ から１又は２ 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ， 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報 ①物基，化基，生基，地学基から２ ②物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１	その他	面接 （高等学校長承認印のあるポートフォリオ持参）	センター試験	200	200	100	100	200					800
						個別学力検査								600	200	800
			理科については，①から２科目，又は，②から１科目選択解答すること。 ［５教科６か７科目又は６教科６か７科目］			計	200	200	100	100	200			600	200	1600

理学部

（注）大学入試センター試験の「地歴」,「公民」及び「理」（物，化，生，地学）において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答すること。

学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
理学科	化学プログラム	国 地歴公民数 理外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ ［５教科７科目］	その他	面接	センター試験	150	50	300	300	200					1000
	生物学プログラム					個別学力検査								200		200
	地球科学プログラム					計	150	50	300	300	200			200		1200

医学部

（配点の※は30頁参照）

学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
医学科	国 地歴公民数 理外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 倫・政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生から２ 英 ［５教科７科目］	その他	面接	センター試験	200	100	200	200	200					900
					個別学力検査								※		※
					計	200	100	200	200	200			※		※

歯学部

学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
歯学科	国 地歴公民数 理外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 倫・政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生から２ 英 ［５教科７科目］	その他	面接	センター試験	200	100	200	200	200					900
					個別学力検査								200		200
					計	200	100	200	200	200			200		1100

工学部

(注) 大学入試センター試験の「地歴」,「公民」及び「理」(物，化，生，地学) において，1科目のみを課している場合は，第1解答科目として選択解答すること。

学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
先進工学科	機械工学プログラム	数 理	数Ⅱ・数B 物 〔理科においては，「物」を第1解答科目として選択解答すること。〕 ［2教科2科目］	その他	面接	センター試験			300	300						600
						個別学力検査								250	150	400
						計			300	300				250	150	1000
	電気電子工学プログラム	数 理 外	数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 ［3教科4科目］	その他	面接	センター試験			200	200	200					600
						個別学力検査								300	100	400
						計			200	200	200			300	100	1000
	海洋土木工学プログラム ［専門教育を主とする学科及び総合学科］	数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から1 ［2教科3科目］	その他	面接	センター試験			300	200						500
						個別学力検査								250	250	500
						計			300	200				250	250	1000
	海洋土木工学プログラム ［普通科あるいはこれに準ずる学科］	数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物，化，生，地学から1 ［2教科3科目］	その他	面接	センター試験			300	200						500
						個別学力検査								250	250	500
						計			300	200				250	250	1000
	化学工学プログラム	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 ［3教科5科目］	その他	面接	センター試験			200	200	200					600
						個別学力検査								300	100	400
						計			200	200	200			300	100	1000
	化学生命工学プログラム	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 ［5教科7科目］	その他	面接	センター試験	100	50	200	200	200					750
						個別学力検査								150	100	250
						計	100	50	200	200	200			150	100	1000
	情報・生体工学プログラム 〔専門教育を主とする学科及び総合学科〕	国 数 理 外	国 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から1 英，独，仏，中，韓から1 ［4教科5科目］	その他	面接	センター試験	100		200	100	100					500
						個別学力検査								400	100	500
						計	100		200	100	100			400	100	1000
	情報・生体工学プログラム 〔普通科あるいはこれに準ずる学科〕	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ［1教科2科目］	その他	面接	センター試験			400							400
						個別学力検査								400	200	600
						計			400					400	200	1000

工学部

（配点の※は30頁参照）

（注）大学入試センター試験の「地歴」,「公民」及び「理」（物，化，生，地学）において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答すること。

学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
建築学科	建築学プログラム ア（文系科目重視型）	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ ［５教科６科目］	その他	面接	センター試験	200	125	200	125	200					850
						個別学力検査								100	50	150
						計	200	125	200	125	200			100	50	1000
	建築学プログラム イ（理系科目重視型）	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から２ 英，独，仏，中，韓から１ ［５教科７科目］	その他	面接	センター試験	100	50	250	250	200					850
						個別学力検査								100	50	150
						計	100	50	250	250	200			100	50	1000
	建築学プログラム ウ（実技試験型）	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物，化，生，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ ［５教科６科目］	その他	空間構成	センター試験	100	50	100	50	100					400
						個別学力検査							550※		50	600
						計	100	50	100	50	100		550※		50	1000

※空間構成

共同獣医学部

（注）大学入試センター試験の「地歴」,「公民」及び「理」（物，化，生，地学）において，１科目のみを課している場合は，第１解答科目として選択解答すること。

学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
獣医学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 倫・政経 ｝から１ 数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａから１ 数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂから１ 物，化，生，地学から２ 英 ［５教科７科目］	その他	小論文及び面接	センター試験	200	100	200	200	300					1000
					個別学力検査						200		200		400
					計	200	100	200	200	300	200		200		1400

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 「地理歴史」及び「公民」は，この２教科を同一の試験時間において実施するが，出題教科としては，それぞれ独立した教科である。

2 「地理歴史」,「公民」及び「理科②（物, 化, 生, 地学)」の試験時間において, 前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とする。

3 「地理歴史」及び「公民」を課す学部・学科等において，指定した教科・科目数を超えて受験している場合は，それぞれ第１解答科目の成績を利用する。

その際，本学が指定している教科・科目以外を第１解答科目としている場合は，その教科は，利用できなくなり，その結果，出願要件を満たさないことがあるので注意すること。

4 「理科」を課す学部・学科等において，指定した科目数を超えて受験している場合は，以下のとおりとする。

① 「理科①（物基, 化基, 生基, 地学基)」の試験時間において２科目及び「理科②（物, 化, 生, 地学)」の試験時間において１科目を受験した場合は，前者２科目の合計点と後者の得点のうち，得点の高い方を利用する。

② 「理科②（物，化，生，地学)」の試験時間において２科目を受験した場合は，第１解答科目の成績を利用する。その際，本学が指定している科目以外を第１解答科目としている場合は，その教科は，利用できなくなり，その結果，出願要件を満たさないことがあるので注意すること。

5 「数学」を課す学部・学科等において，指定した科目数を超えて受験している場合は，得点の高い科目の成績を利用する。

6 「数学」において『簿記・会計』,『情報関係基礎』を選択解答することができる者は，高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。

7 『英語』には「リスニング」を含む。また,『英語』において「筆記」のみを受験し「リスニング」を受験しなかった者は，本学の指定する教科・科目を受験していない者として「出願無資格者」とする。

『英語』以外の科目を受験した者及び「リスニング」の受験を免除された者については, 筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用する。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

1 配点に＊を付してある教科は選択教科を表す。

⑴ 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース一般（文系受験型), 音楽, 保健体育及び中等教育コース国語において，大学入試センター試験の数学，理科に＊を付してあるものは，「数学２科目・200点，理科①２科目・100点又は理科②１科目・100点」，あるいは，「数学１科目・100点，『理科①２科目・100点と理科②１科目・100点の合計200点』又は理科②２科目・200点」の配点となる。

なお, 数学及び理科を合わせて４又は５科目を受験している場合は, (i)数学の得点の高い科目, (ii)「理科①（２科目)」と「理科②の第１解答科目」のうち得点の高い方，(iii)残りの科目のうち得点の高い科目の成績を利用する。

⑵ 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース社会及び英語において，大学入試センター試験の数学，理科に＊を付してあるものは，「数学２科目・150点，理科①２科目・50点又は理科②１科目・50点」，あるいは，「数学１科目・50点，『理科①２科目・75点と理科②１科目・75点の計150点』又は理科②２科目・150点」の配点となる。

なお, 数学及び理科を合わせて４又は５科目を受験している場合は, (i)数学の得点の高い科目, (ii)「理科①（２科目)」と「理科②の第１解答科目」のうち得点の高い方，(iii)残りの科目のうち得点の高い科目の成績を上記にしたがい換算した後の合計得点が高くなるように利用する。

2 配点に※を付してある教科について

⑴ 医学部医学科の面接は，５段階で評価する。配点合計欄は，34頁の「５　合否判定基準」の⑴を参照すること。

⑵ 工学部建築学科の「空間構成」は，与えられた材料により空間を構成する造形物を制作し，それに関する描画を行う試験である。

3 調査書について

⑴ 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース一般の調査書では，部活動，ボランティア活動等，留学・海外経験等及び特別活動（生徒会・委員会・クラス係等)，全国的な評価がある取得資格，検定等及び表彰・顕彰等諸活動について評価する。

⑵ 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽の調査書には，⑴の評価に加えて，音楽実技活動の実績調書の評価が含まれる。

⑶ 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース保健体育の調査書には，⑴の評価に加えて，実技調書の評価が含まれる。

4　大学入試センター試験の外国語（英語）の筆記とリスニングの配点は次表のとおりです。

学　部	学　科　・　課　程　等			筆　記	リスニング	計
法文学部	法経社会学科		法学コース	120	30	150
			地域社会コース・経済コース(注1)			
	人文学科		多元地域文化コース			
			心理学コース			
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	160	40	200
			音楽			
			保健体育			
		中等教育コース	国語	160	40	200
			社会			
			英語	240	60	300
			数学	80	20	100
			理科			
			美術	160	40	200
理学部	理学科	化学プログラム		160	40	200
		生物学プログラム				
		地球科学プログラム				
医学部	医学科			160	40	200
歯学部	歯学科			160	40	200
工学部	先進工学科	電気電子工学プログラム		160	40	200
		化学工学プログラム		160	40	200
		化学生命工学プログラム		160	40	200
		情報･生体工学プログラム (注2)		80	20	100
	建築学科	建築学プログラム		160	40	200
共同獣医学部	獣医学科			240	60	300

(注１) 法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コースは，「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」及び「全学科」を対象とするものです。

(注２) 工学部先進工学科情報･生体工学プログラムにおいて『英語』を課すのは，「専門教育を主とする学科及び総合学科」を対象とするものです。

Ⅴ　採点・評価等基準

１　小論文

次の学部・学科で小論文を課し，それぞれ修学上必要な能力をみます。

⑴　法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コース

社会の諸事象に関する文章などを読ませ，社会的な問題に対する関心や思考力，文章などの読解力ならびに論理的な説明能力をみる。

⑵　法文学部人文学科多元地域文化コース

出題の内容について，発想の柔軟さ，適切な論理の展開と表現能力を問う。

⑶　共同獣医学部獣医学科

提示された資料，課題に対する理解力，分析力，論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点する。なお，資料は英文で提示することがある。

２　空間構成

工学部建築学科建築学プログラム（ウ 実技試験型）

空間や立体などの構成に関する分析力，理解力，表現力を問う。

３　実技

教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽は，実技を課す。

ピアノ，声楽，ソルフェージュ，その他の楽器（希望者のみ）を課し，音楽の基礎的能力と表現力・技術力をみる。

4　面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学　部	学科・課程等		面接の形態			面接時間	評　価　事　項
			個人面接	集団面接	面接員数		
法文学部	法経社会学科	法学コース	○		2～3人	15分	学習意欲，社会の諸問題に対する関心の高さ，基礎的な表現力をみる。
		地域社会コース・経済コース	○		3～5	10	社会の諸事象に対する関心と学習意欲をみる。
	人文学科	心理学コース		○	3～5	15	人の心と行動に対する関心の高さ，勉学意欲，コミュニケーション能力などをみる。
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース	一般	○		3	15	教員志望への熱意，初等教育への関心，コミュニケーション能力などをみる。
		音楽	○		3～6	15	音楽の基礎的内容の理解，音楽への興味・関心，音楽活動への参加状況，勉学意欲の程度，初等教育教員志望への熱意などをみる。
		保健体育	○		3	15	教員志望への熱意，体育の教育への関心，コミュニケーション能力などをみる。
	学校教育教員養成課程 中等教育コース	国語	○		3～6	10	国語の基礎的内容の理解，国語への興味・関心，勉学意欲の程度，教員志望への熱意をみる。
		社会	○		3～10	20	地理歴史及び公民の基礎的内容の理解，社会科への興味・関心，勉学意欲及び教員志望への熱意などをみる。
		英語	○		3～6	15	英語の基礎力，関心，勉学意欲の程度，教員志向の熱意等を評価する（英語による質疑応答を含む）。
		数学	○		2～6	20	数学Ⅲの基本的内容の理解の確認，数学への興味・関心の程度，数学を題材とした書物の読書体験，教員志望の熱意などをみる。
		理科	○		3～8	15	理科に関する基礎的理解や学力の確認，教員志望の意欲や熱意などをみる。
		美術	○		3～5	20	持参した高等学校長承認印のあるポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの）をもとに，美術の基礎的内容の理解，美術への興味・関心，勉学意欲の程度，教員志望への熱意などをみる。
理学部	理学科	化学プログラム	○		3	15	志望動機，学習意欲，基礎学力などについて，調査書の内容も含めて評価する。
		生物学プログラム	○		3	15	志望動機，学習意欲，基礎学力などについて，調査書の内容も含めて評価する。
		地球科学プログラム	○		3	15	志望動機，学習意欲，基礎学力などについて，調査書の内容も含めて評価する。
医学部	医学科		○		3～5	20	鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者について，医療人としての適性及び能力をみる。
歯学部	歯学科		○		3	20	歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ者について，歯科医療人としての適性及び能力をみる。
工学部	先進工学科	機械工学プログラム	○		5	10	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
		電気電子工学プログラム	○		3～6	15	電子電気工学を学ぶ上で必要な基礎的事項に関する理解力，論理的思考力，学習意欲，目的意識について評価する。
		海洋土木工学プログラム	○		3～5	10	海への興味・理解の程度，学習意欲，土木技術者としての適性などを評価する。
		化学工学プログラム	○		3～5	10	学習意欲，適性などについて評価する。
		化学生命工学プログラム	○		3	10	学習意欲，目的意識，適性などについて評価する。
		情報･生体工学プログラム	○		3～5	10	情報生体システム工学を学ぶ上での適性と意欲を評価する。
	建築学科	建築学プログラム ア 文系科目重視型 イ 理系科目重視型	○		3～5	15	志望の動機及びこれまでの生活における建物とのかかわり方を通して建築への適性を評価する。自分の考えを論理的に表現する能力を評価する。
共同獣医学部	獣医学科		○		3～5	15	志望動機，勉学意欲，質問に対する理解力，表現力等を評価・採点するとともに，志願学科への適性をみる。

⑴　受験者数により「面接の形態」,「面接時間」を変更することがあります。
⑵　法文学部法経社会学科地域社会コース･経済コースは,「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」を対象とする選抜で面接を実施します。
⑶　法文学部人文学科心理学コースにおける面接の形態は討論を含めた集団面接を行います。
⑷　教育学部中等教育コース美術では，受験者が持参する高等学校長承認印のあるポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの）をもとに，面接を行います。
⑸　歯学部歯学科では，受験者に面接用資料を作成させ（40分），それらに基づき面接を行います。

５　合否判定基準

⑴　大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合得点により順位付けを行い，合否を決定します。
　なお，医学部医学科は，大学入試センター試験，面接，出身高等学校の調査書及び高等学校長の推薦書を総合判定し，合否を決定します。また，面接の評価が著しく低い場合には，不合格とすることがあります。

⑵　教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽においては，面接の評価が著しく低い場合（75点以下），中等教育コース社会においては，面接の評価が著しく低い場合（100点以下），中等教育コース理科においては，大学入試センター試験の合計得点が配点合計の55%未満の場合，または面接の評価が著しく低い場合（100点以下），総合得点にかかわらず，不合格とすることがあります。

⑶　歯学部においては，大学入試センター試験の合計得点が配点の70％未満の場合には，総合得点にかかわらず不合格とします。また，面接の得点が配点の50％未満の場合には，総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

⑷　工学部先進工学科機械工学プログラム，電気電子工学プログラム及び情報・生体工学プログラムにおいては，大学入試センター試験の合計得点が配点合計の50％未満の場合，海洋土木工学プログラムにおいては，大学入試センター試験の数学と理科の合計，面接，調査書の３つの評価項目のうち，いずれか１つでも配点の40％未満の場合，総合得点の順位にかかわらず不合格とします。
　工学部建築学科の（ア）文系科目重視型，及び（イ）理系科目重視型においては，大学入試センター試験の合計得点が配点合計の70％未満の場合，または個別学力検査の面接の得点が配点の50％未満の場合，または大学入試センター試験と個別学力検査の総合得点が配点合計の70％未満の場合，総合得点の順位にかかわらず不合格とし，（ウ）実技試験型においては，大学入試センター試験の合計得点が配点合計の55％未満の場合，または個別学力検査の空間構成の得点が配点の60％未満の場合，総合得点の順位にかかわらず不合格とします。

⑸　総合得点が同点の場合は，次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学部	学科等			同点者の優先順位
法文学部	法経社会学科		法学コース	1.センター試験（合計）　2.センター試験（外国語）
			地域社会コース・経済コース（商業科等）（注1）	1.小論文・面接（合計）　2.小論文　3.センター試験（外国語）
			地域社会コース・経済コース（全学科）	1.小論文　2.センター試験（外国語）　3.センター試験（国語）
	人文学科		多元地域文化コース	1.小論文　2.センター試験（国語）　3.センター試験（外国語）
			心理学コース	1.面接　2.センター試験（国語）　3.センター試験（外国語）
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	1.センター試験（合計）　2.面接
			音楽	1.実技試験　2.調査書　3.面接
			保健体育	1.センター試験（合計）　2.面接
		中等教育コース	国語	1.面接　2.調査書
			社会	1.面接　2.センター試験（合計）
			英語	1.センター試験（外国語）　2.センター試験（合計）　3.面接
			数学	1.センター試験（合計）
			理科	1.面接　2.調査書
			美術	1.面接　2.調査書
理学部	理学科	化学プログラム		1.センター試験（合計）　2.センター試験（理科合計） 3.センター試験（数学合計）　4.センター試験（外国語）
		生物学プログラム		
		地球科学プログラム		
歯学部	歯学科			1.面接　2.センター試験（外国語） 3.センター試験（数学の合計）　4.センター試験（理科の合計）
工学部	先進工学科	機械工学プログラム		1.センター試験（合計）　2.面接　3.調査書
		電気電子工学プログラム		
		海洋土木工学プログラム		1.センター試験（数学と理科の合計）　2.面接
		化学工学プログラム		1.センター試験（合計）　2.面接　3.調査書
		化学生命工学プログラム		1.センター試験（外国語）　2.センター試験（数学②）（注３） 3.センター試験（数学①）（注２）　4.センター試験（合計）
		情報・生体工学プログラム		1.センター試験（合計）　2.面接
	建築学科	建築学プログラム		1.センター試験（外国語）　2.センター試験（数学②）（注３） 3.センター試験（数学①）（注２）
共同獣医学部	獣医学科			1.小論文・面接（合計）　2.センター試験（外国語） 3.センター試験（理科）

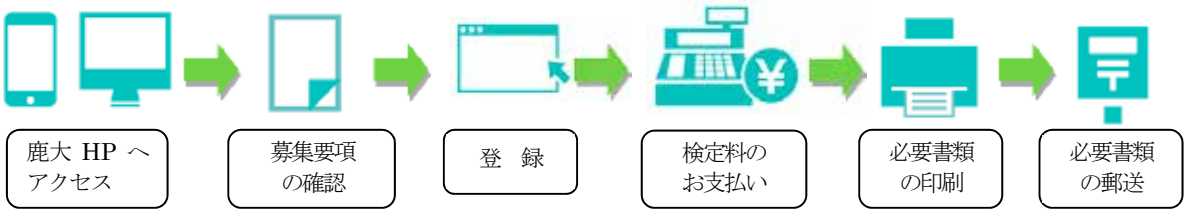
（注１）商業科等とは，商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科のことである。
（注２）センター試験（数学①）とは，「数学Ⅰ」『数学Ⅰ・数学Ａ』を示す。
（注３）センター試験（数学②）とは，「数学Ⅱ」『数学Ⅱ・数学Ｂ』『簿記・会計』『情報関係基礎』を示す。
（注４）同点者の優先順位に用いる大学入試センター試験の得点は24～29頁の配点のとおりとし，23頁の外部英語検定試験の利用に係る希望者優遇者制度を希望する場合の大学入試センター試験「外国語」の得点はみなし満点（加点）後の得点です。

Ⅵ　出願手続

推薦入試Ⅱは，インターネットを利用した出願を行います。従来の紙媒体での出願はできませんので，鹿児島大学の入試案内のホームページへアクセス（以下参照）し，推薦入試Ⅱの学生募集要項（PDFファイル）の内容を参照してください。

鹿児島大学　入試案内（募集要項・本学所定の書式・インターネット出願サイト）

https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html



１．出願期間

令和２年（2020年）１月21日（火）～23日（木）１７時必着

※インターネット出願登録及び入学検定料支払い手続きは１月１４日（火）９時から可能です。

２．提出方法

入学志願者は，次頁の「４．出願書類等」を番号順に取り揃え，その左肩を大型クリップで留めて，市販の**角形２号**封筒（240mm ×332mm）に入れてください。その封筒にインターネット出願登録サイトから各自で印刷した宛名ラベルを貼り付けて提出してください。

持参する場合は，「鹿児島大学学生部入試課」宛に**出願書類提出期限１月２３日（木）１７時まで**に持参してください。

郵送する場合は，同封筒に切手を貼り**出願書類提出期限１月２３日（木）１７時まで**に到着するよう郵便事情等を考慮し，早めに郵送してください。なお，出願最終日以降に到着したものについては，１月２２日（水）の消印のものまで受理します。

３．インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

⑴　インターネットによる出願情報の登録（写真のアップロードを含む。）

⑵　入学検定料17,000円の支払い。（なお，別途，払込手数料640円が必要です。）

⑶　入学検定料の支払い後，インターネット出願サイトにて，出願確認票の印刷，宛名ラベルの印刷をしてください。（印刷前に写真のアップロードを完了する必要があります。）

⑷　インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は，次のとおりです。

㋐　電子メールアドレス

スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に，出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）

㋑　Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンタで出願情報の登録内容や受験票を印刷（普通紙）することになります。

㋒　提出書類のうち「⑵出願者が準備する出願書類等」（次頁参照）の内容によっては，準備に時間を要する場合がありますので，事前に確認が必要です。

出願期間　令和２年(2020 年)　１月 21 日(火)～23 日(木) 17 時必着

※インターネット出願登録及び入学検定料支払い手続きは令和２年（2020 年）１月 14 日（火）９時から可能です。

注）出願締切時間までに出願書類を提出できるように登録・支払いを済ませてください。

４．出願書類等

（１）インターネット出願登録サイトから印刷する出願書類等（Ａ４で印刷）

番号	出願書類等	摘　　要	対象学部
1	出願確認票	この出願確認票は大学へ郵送する書類です。 出願内容等に間違いがないか確認して，インターネット出願サイトの登録時に印刷してください。 「令和２年度センター試験成績請求票貼り付け欄」には，（推薦 国公立推薦入試用）をはがれないように糊付けしてください。また，センター試験受験票又は成績請求票の再発行を受けた場合は，再発行された成績請求票を糊付けしてください。	全学部
－	宛名ラベル	宛名ラベルは出願書類郵送時に封筒に貼り付けてください。 ※封筒は，市販の角形２号封筒（240mm×332mm）を準備してください。	

出願確認票及び宛名ラベルは，37頁（３）写真のアップロードと37頁（４）入学検定料の支払いが完了しないと印刷できません。

（２）出願者が準備する出願書類等

番号	出願書類等	摘　　要	対象学部
2	調査書 又は 成績証明書等	文部科学省が定めた様式により，平成31年４月以降に発行され，出身学校長が作成し厳封したもの。 (注)被災その他の事情により，調査書が得られない場合は，卒業証明書，成績通信簿（写）等を提出すること。この場合，学校長からの「調査書が発行できない旨の文書」を添付すること。	全学部
3	推薦書	本学所定の書式をダウンロードのうえ，高等学校長が作成し，厳封されたものを提出すること。（Ａ４両面印刷）**38頁⑸及び⑹参照**	
4	実技関係調書等	学校教育教員養成課程初等教育コース音楽の志願者は，下記の書類を提出すること。**38頁⑹参照** １）音楽実技活動の実績調書 高等学校長が作成，厳封されたものを提出すること。なお，実績調書に記載した実績を証明するプログラム，賞状又は各種検定グレード証明書等の写し等を添付すること（Ａ４印刷）。 ２）実技検査受験種目届 志願者本人が記入し提出すること（Ａ４印刷）。 ３）楽譜 声楽，その他の楽器，について必ず提出すること。 ※声楽 楽譜の右上に志願者氏名を記入すること。 ※その他の楽器 楽譜の右上に志願者氏名及び楽器名を記入すること。	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽
		学校教育教員養成課程初等教育コース保健体育の志願者は，下記の書類を提出すること。**38頁⑹参照** ・実技調書 高等学校長が作成，厳封されたものを提出すること。なお，実技調書に記載した入賞歴を証明する資料の写し等を添付すること（A4印刷）。	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 保健体育
5	自己推薦書	本学所定の書式をダウンロードのうえ，志願者本人が手書きで作成したものを提出すること。（Ａ４両面印刷）**38頁⑸及び⑹参照**	法文学部(法経) 教育学部(技術)
6	学校便覧 (学校要覧)	学校便覧（学校要覧又はシラバス）は，授業科目の内容が記載されているもの。**38頁⑸参照**	工学部：先進工学科海洋土木工学プログラム，情報・生体工学プログラム
7	(希望者優遇制度) 外部英語試験の成績証明書等 (原本) [平成29～令和元年度実施分]	23頁に記載の外部英語試験で一定スコア基準を満たす者で，大学入試センター試験「外国語」の得点を，満点とみなすことを希望する者は，次の書類のいずれか１つを提出すること。	全学部
		Cambridge English（ケンブリッジ英検）：合格証明書（**FCE以上**）	
		実用英語技能検定：「実用英語技能検定合格証明書」（**準１級以上**）	
		GTEC CBT：「GTEC CBT Score Report」（**1250点以上**）	
		IELTS：「IELTS Test Report Form」（**5.5以上**）	
		TEAP：スコアレポート（**334点以上**）	
		TOEFL iBT：「TOEFL Internet-based Test Taker Score Report」（**72点以上**）	
		TOEIC/TOEIC S&W：「TOEIC Official Score Certificate」及び「TOEIC Speaking and Writing Tests Official Score Certificate」（**1095点以上（L&R 785点以上かつS&W 310点以上）**）	

① 高等学校長の推薦書（本学所定の書式）は，厳封されたものを同封してください。なお，高等学校長の推薦書は，記載責任者は担任教諭としてください。
② 法文学部の自己推薦書は，法経社会学科の法学コースと地域社会コース，経済コース「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」が対象
③ 学校便覧（学校要覧）は，志願者１人につき１冊必要です。学校便覧（学校要覧）を別便で送付する場合は，封筒の表に，志願学部・学科名，志願者氏名及び学校便覧（学校要覧）在中の旨を明記してください。
④ 「外部英語試験の成績証明書等（原本）」を提出する者で返却を希望する者は，730円分の切手を貼った「返信用封筒（角形２号）」を必ず同封してください。

（３）インターネット出願登録サイトから受験票印刷のためのアップロード作業が必要なもの（郵送は不要）

出願登録処理	摘　　要	対象学部
カラー写真 **（白黒不可）**	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後，登録完了メールに記載されているURL から，インターネット出願登録サイトへ再度ログインし，志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 **（写真はスマートフォンやデジタルカメラ等で撮影し，上半身脱帽正面向き無背景，出願前６ヶ月以内に撮影した100KB以上5MB以下のJPG又はPNGデータであること。）**	全学部

（４）インターネット出願登録サイトでの入学検定料の支払い方法

出願登録処理	摘　　要	対象学部
入　学　検　定　料	１．入学検定料　　17,000円 ※上記のほかに，1回の出願登録につき別途払込手数料が志願者負担として必要です。 ２．払込期間　　令和2年1月14日(火)～1月23日(木) 注）出願書類提出期限までに出願書類を提出できるように登録・支払いを済ませてください。 ３．支払い方法 全国展開しているコンビニエンスストア，銀行ATM，ゆうちょ銀行ATM，ネットバンク，各種クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・American Express・Diners Club）のいずれかで入学検定料の支払いが可能。 ４．入学検定料の返還について 既納の入学検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。 （ア）入学検定料を払い込んだが，出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合（返還額 17,000円） （イ）入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合（返還額 17,000円） （ウ）出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（検定料 4,000円・返還額 13,000円） １）返還請求の方法 上記(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者は，鹿児島大学ホームページ（https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/henkan.html）に掲載している入学検定料返還請求書を作成し，返還請求期限までに本学あて郵送してください。（持参による申請は受け付けません。） 手続の詳細は，鹿児島大学ホームページ（上記URL）を参照してください。 （返還請求期限：令和２年３月16日(月)消印有効） ２）留意事項 ①返還にかかる振込手数料は志願者の負担となり，実際の返還額は振込手数料を差し引いた金額となります。 ②入学検定料の払込時の払込手数料は返還対象外となります。 ③返還には，適正な請求書が本学に届いてから１ヶ月程度かかりますので予めご了承ください。	全学部

（5）推薦書等書類

学部・学科等			推薦書 (高等学校長作成)	調査書・調書等 (高等学校長作成)	実技関係等書類 (志願者本人作成)	学校便覧 (学校要覧又はシラバス)	自己推薦書 (志願者本人作成)
法文学部	法経社会学科	法学コース	○	○	×	×	○
		地域社会コース・経済コース	○	○	×	×	○ ×
	人文学科	多元地域文化コース	○	○	×	×	×
		心理学コース	○	○		×	×
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース 一般	○	○	×	×	×
		初等教育コース 音楽	○	○	○	×	×
		初等教育コース 保健体育	○	○	×	×	×
		中等教育コース 国語	○	○	×	×	×
		中等教育コース 社会	○	○	×	×	×
		中等教育コース 英語	○	○	×	×	×
		中等教育コース 数学	○	○	×	×	×
		中等教育コース 理科	○	○	×	×	×
		中等教育コース 美術	○	○	×	×	×
理学部	理学科	化学プログラム	○	○	×	×	×
		生物学プログラム	○	○	×	×	×
		地球科学プログラム	○	○	×	×	×
医学部	医学科		○	○	×	×	×
歯学部	歯学科		○	○	×	×	×
工学部			○	○	×	○	×
			○	○	×	×	
共同獣医学部	獣医学科		○	○	×	×	×

(ア) 志願学部・学科等により提出する書類が異なるので，注意してください。

(イ) 法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コースの自己推薦書欄の上段は「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」を対象とし，下段は「全学科」を対象とするものです。

(ウ) 工学部の学校便覧（学校要覧又はシラバス）欄の上段は海洋土木工学プログラム又は情報・生体工学プログラムの「専門教育を主とする学科及び総合学科」を対象とし，下段はそれ以外を対象とするものです。

なお，学校便覧（学校要覧又はシラバス）は，志願者１人につき１冊必要です。学校便覧（学校要覧又はシラバス）を別便で送付する場合は，封筒の表に，志願学部名，志願者氏名及び学校便覧在中の旨を明記してください。

（6）本学所定の書式（ホームページ＞トップページ＞入試案内＞選抜要項・募集要項に掲載）をダウンロードし作成するもの

出願書類等	摘　　要	対象学部
推　薦　書	35頁のURLからダウンロードした本学所定の書式により学校長が作成し押印のうえ厳封されたものを郵送してください。（Ａ４両面）	全学部
自己推薦書	35頁のURLからダウンロードした本学所定の書式に志願者本人が手書きで作成し郵送してください。（Ａ４両面）	法文学部（法経）
実技関係調書 **音楽実技活動の実績調書** **実技調書（保健体育）**	35頁のURLからダウンロードした本学所定の書式により学校長が作成し押印のうえ厳封されたものを郵送してください。（Ａ４印刷）	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽 初等教育コース 保健体育
実技関係書類 **実技検査受験種目届**	35頁のURLからダウンロードした本学所定の書式に志願者本人が記入し郵送してください。（Ａ４印刷）	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽

（7）受験票の印刷通知及び検査場の案内

令和２年（2020年）１月29日（水）頃に，インターネット出願登録サイトから，「受験票印刷可能通知メール」を志願者が登録した電子メールアドレスへ送信します。

メール受信後，インターネット出願登録サイトから各自受験票を印刷し検査当日に持参してください。
受験票を印刷の際は必ずＡ４縦サイズでカラー印刷してください。
※「受験票印刷可能通知メール」が令和２年（2020年）１月31日（金）までに届かない場合には，速やかに下記の【出願書類提出先及び問い合わせ先】に連絡してください。

（８）留意事項

㋐　出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受け付けられませんので，十分点検して提出してください。なお，不備書類は返却します。

㋑　受験票は，受験，入学手続及び入試情報（個人情報）開示請求の際に必要です。大切に保管してください。

㋒　出願手続その他に不正の事実があった場合は，入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

㋓　国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試大学入試センター試験を課す場合，課さない場合を含めて）に出願することができる大学・学部は１つです。

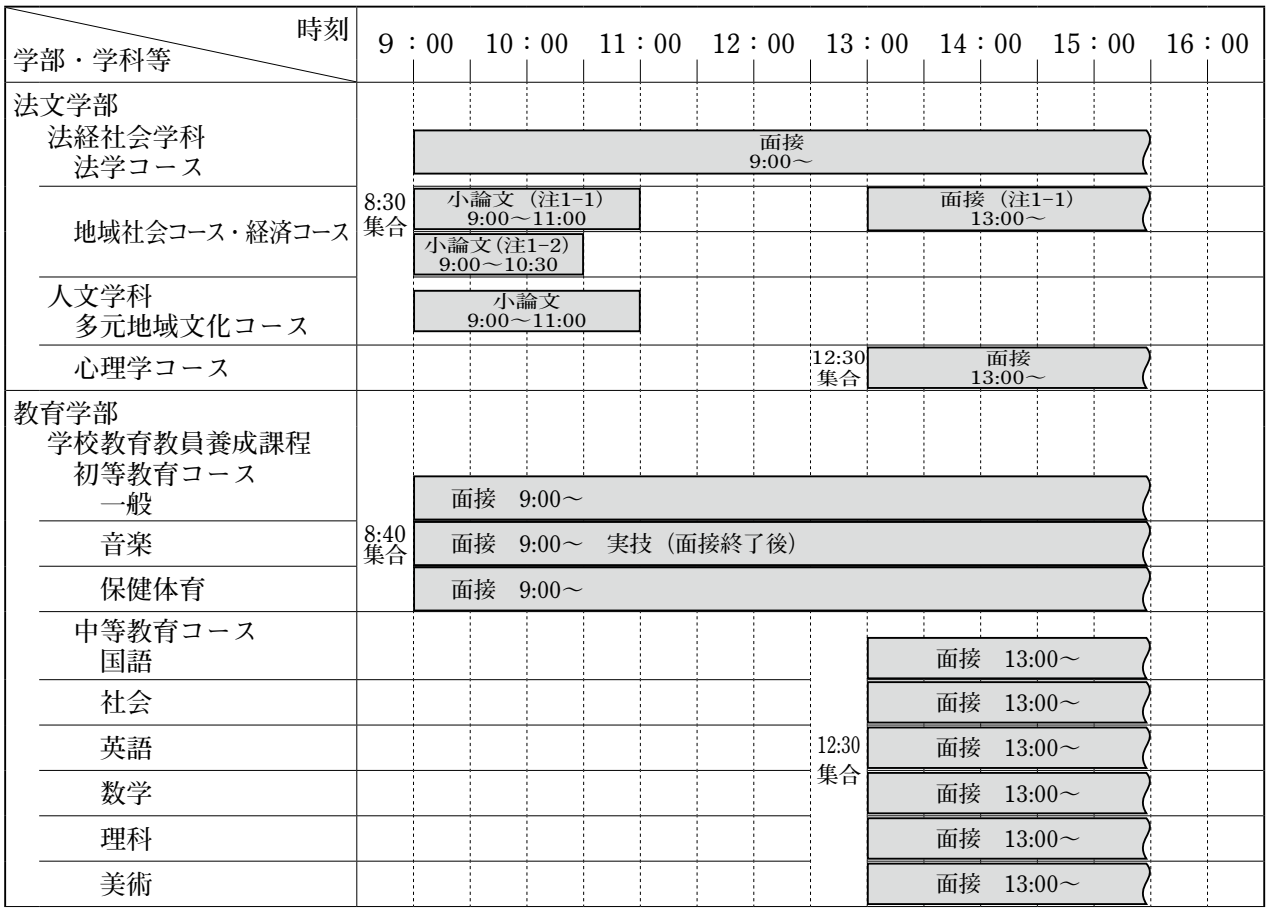
【出願書類提出先及び問い合わせ先】
〒８９０－８５８０　鹿児島市郡元一丁目２１－２４
鹿児島大学学生部入試課入試実施係　ＴＥＬ　０９９－２８５－７３５５

Ⅶ　小論文等の実施日等，時間割，受験上の注意

１　小論文・面接の実施日等

実施日　令和２年（2020年）２月８日（土）
場　所　志願学部
検査場所は38頁「⑺受験票の印刷通知及び検査場の案内」の「受験票印刷可能通知メール」で一緒に案内します。

２　小論文等の時間割



(注1-1) 法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コースの「商業科あるいはこれに準ずる学科，もしくは総合学科」を対象としています。

(注1-2) 法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コースの「全学科」を対象としています。

(注２) 歯学部歯学科では，受験者に面接用資料を作成させ（40分），それらに基づき面接を行います。

３　受験上の注意

⑴　受験者は，検査員の許可がなければ検査室に出入りすることができません。

⑵　受験者は，**「本学の受験票」及び「大学入試センター試験受験票」**を持参し，検査開始20分前の合図により各自指定の検査室に入り本学の受験票と同番号の席に着き，**「本学の受験票」及び「大学入試センター試験受験票」**を机の上に置いてください。

⑶　検査開始時刻に遅刻した場合は，検査開始時刻後30分以内の遅刻に限り，その科目等の受験を認めます。なお，遅刻の理由が交通機関の遅延･予定外の運休等の場合は，検査場本部に申し出てください。

⑷　面接時の留意事項　面接を受験する受験者が面接開始時刻までに面接控室に入室していない場合は，面接の受験は認められませんので注意してください。

⑸　**本学が課す個別学力検査等（面接用資料作成を含む）のうち，１つでも受験しなかった者は失格となり，合否判定の対象者とはなりません。**

⑹　鉛筆（鉛筆キャップ，シャープペンシルも可）･消しゴム･鉛筆削り（電動式を除く。）等は各自用意し，検査中に他人の物品を借りたり，共用したり，検査に必要のない物品を持ち込んだりしてはいけません。

〔歯学部歯学科の面接を受験する者は，筆記用具を準備してください。〕

⑺　教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術の面接を受験する者は，高等学校長承認印のあるポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの）を必ず持参してください。

⑻　**時計を使用する場合は，計時機能だけのものとします。**アラームや時報機能のついた時計は，検査室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。

⑼　携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の電子機器類は，検査室に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切ってかばん等に入れておいてください。検査時間中に，これらをかばん等に入れず，身に付けていたり，手に持っていると不正行為となることがあります。

なお，検査時間中にかばん等の中で携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は，検査員が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出し，検査場本部で当該検査時間終了まで保管します。

⑽　検査室に入室してから検査終了まで退室を認めません。ただし，検査中の発病等やむを得ない場合には，手を挙げて検査員の指示に従ってください。この場合，検査時間の延長は認めません。

⑾　検査に際して不正行為が認められた受験者については，その検査は無効とし，その後の受験を認めません。この場合，すべての成績が無効となり，合否判定の対象者とはなりません。

⑿　２月７日（金）14時から各学部の検査場で検査室配置図等の掲示を行いますので，受験生は必ず確認しておいてください。ただし，検査棟内への立入りはできません。

⒀　公共の交通機関を利用してください。なお，検査当日は，自動車･バイク等による入構を禁止します。

検査前日又は検査当日，検査場周辺等で「受験料の徴収」，「合格電話・電報」等の受付けをする者がいた場合，これらの行為は本学とは何ら関係ないものであり，これらのことから生じるトラブルに対して，本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

―試験当日の試験実施に関しての注意点―

地震や風水害等の自然災害等により，試験場までの交通手段が奪われ，当初の日程通りに入学試験等を実施することが困難であると本学が判断した場合，試験時間の繰り下げ，試験の延期（追試験の実施），試験会場の変更等の措置をとることがあります。

これらの措置を講じる場合は鹿児島大学ホームページ上に掲載します。

ただし，このことに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。

Ⅷ　教育学部の実技検査等

教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽の志願者には，次表の実技検査を課します。

１．器楽

Ａ．ピアノ（全員必須）

J. Haydn, W.A.MozartまたはL.v.Beethoven作曲（Op. 101, Op. 106, Op. 109, Op. 110, Op. 111を除く）のピアノソナタ，または『ソナチネ　アルバム　１』第１番～第17番，『ソナチネ　アルバム　２』第１番～第15番より任意の楽章。

（『ソナチネ　アルバム』の曲の番号は全音楽譜出版社版に拠る。）

※出願の際「初等教育コース音楽実技検査受験種目届（推薦入試Ⅱ）」に作曲者名及び曲名（作品番号及び楽章を含む）を記入すること。

Ｂ．その他の楽器（希望者）

自由曲１曲

※出願の際「初等教育コース音楽実技検査受験種目届（推薦入試Ⅱ）」に演奏楽器名，作曲者名及び曲名を記入し，楽譜を提出すること。（コピー，手書き，ともに可。ただし，正確で明瞭であること。楽譜の右上に志願者氏名及び楽器名を記入すること。なお，提出された楽譜は返却しない。）

楽器は各自持参すること。

なお，マリンバ，ティンパニー等の大型楽器については，本学教育学部音楽科事務室に問い合わせること。（℡. 099-285-7901）

２．声楽（全員必須）

高等学校音楽教科書掲載程度の独唱曲から任意の１曲を原語，暗譜により演奏すること。

※出願の際「初等教育コース音楽実技検査受験種目届（推薦入試Ⅱ）」に作曲者名及び曲名を記入し，楽譜を提出すること。（コピー，手書き，ともに可。ただし，正確で明瞭であること。楽譜の右上に志願者氏名を記入すること。なお，提出された楽譜は返却しない。）なおピアノ伴奏は，つかない。検査場にあるピアノで歌い出しの音を自分でとることは可能。

３．ソルフェージュ（全員必須）

Ａ．小学校共通教材の階名唱

次の２曲の中から当日指定する１曲を無伴奏で階名唱すること。

（固定ド唱法，移動ド唱法いずれも可。繰り返しは省く。楽譜は当日提示するものを見て歌うこと。）

「茶つみ」（文部省唱歌）

「冬げしき」（文部省唱歌）

Ｂ．聴音　単旋律の書き取りを行う。

＊小学校共通教材を除き，演奏はすべて暗譜とし，繰り返しを省く。

Ⅸ　合格者発表

日時：令和２年（2020年）２月12日（水）15時（予定）

各学部において合格者の受験番号を掲示するとともに，合格者には，合格通知書と入学手続きに必要な書類等を送付します。なお，推薦を行った高等学校長あてに合否結果を上記日時以降に送付します。

また，鹿児島大学ホームページ（https://www.kagoshima-u.ac.jp/）にも合格者の受験番号を掲載します。

電話・メール等による合否の問い合わせには一切お答えいたしません。

Ⅹ　入学手続

入学手続は，本学所定の封筒に提出書類を封入し，次により行ってください。

１　入学手続日時

令和２年（2020年）２月19日（水）９時～17時（12時～13時を除く。）

（郵送の場合も２月19日（水）17時までに必着のこと。）

⑴　入学手続を郵送で行う場合，２月19日（水）17時までに到着しないおそれがあるときは，提出書類を上記日時に本学に持参して入学手続を行ってください。

⑵　２月19日（水）17時までに入学手続を行わなかった場合は，本学の推薦入試Ⅱの合格者としての権利が消失します。

⑶　やむを得ない事由により，入学手続日時に手続きができない場合は，２月19日（水）正午までに学生部入試課入試実施係（裏表紙参照）に電話連絡してください。

⑷　合格者で特別の事由により入学を辞退する者は，高等学校長を経由して，具体的な辞退理由を記し，署名・捺印した「推薦入試Ⅱ入学辞退願」（様式任意）を２月19日（水）17時までに本学学長あて学生部入試課入試実施係（裏表紙参照）に提出し，許可された場合に限り入学辞退を認めます。

⑸　合格者は，推薦入試Ⅱの入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて，本学又は他の国公立大学・学部の個別学力検査を受験しても合格の対象とはなりません。

２　入学手続場所　鹿児島大学事務局

３　提出書類

⑴　宣誓書及び在学保証書（別途送付する本学所定の様式）

⑵　本学の受験票

⑶　大学入試センター試験受験票

※　再発行を受けた場合は，再発行された受験票のみが有効です。

⑷　卒業（修了）証明書

※　入学手続時に提出できない場合は，令和２年３月６日（金）までに，入学手続を完了した学部の担当係（裏表紙参照）に提出してください。

⑸　入学料振替払込受付証明書（お客さま用）

⑹　学生証写真票（写真は縦４㎝×横３㎝）

⑺　その他本学が必要とする書類

４　納付金の納入

⑴　入学料　282,000円

①　入学料は，**郵便局の受付窓口で払込んでください。ATMでの払込みはできません。**その際，払込取扱票等の※欄は，合格者の氏名等を記入してください。

また，「振替払込受付証明書（お客さま用）」は，郵便局の受付窓口で日附印を受けた上で，所定の台紙に貼付し，入学手続時に提出してください。

なお，既納の入学料は次の場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。

㋐　入学料を払込んだが，入学手続をしなかった場合

㋑　入学料を誤って二重に払込んだ場合

②　入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は，47頁を参照してください。

なお，入学手続後に入学を辞退する場合，入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり，必ず入学料を納入していただくことになります。

③　入学料に改定があった場合は，改定後の入学料を納入していただくことになります。

⑵　授業料　半期分　267,900円（年額 535,800円）

①　授業料は，免除申請中の者を除き，本人指定の口座から，前期分を５月下旬に，後期分を10月下旬に引き落とします。（２年次以降は，前期分を４月に，後期分を10月に引き落とします。）

②　授業料の免除を希望する者は，48頁を参照してください。

③　授業料に改定があった場合は，改定後の授業料を納入していただくことになります。

④　在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

※　授業料の詳細については，合格通知書とともに送付される入学案内を参照してください。

Ⅺ　推薦入試に出願した者が一般入試を受験する場合

1　推薦入試で不合格になった場合に備えて，「前期日程」で実施する大学・学部から１つ，「後期日程」で実施する大学・学部から１つの合計２つの大学・学部に出願し，受験することができます。ただし，推薦入試に合格し，入学手続を完了した者は，本学又は他の国公立大学の一般入試の合格者となることはできません。
2　他の国公立大学・学部の推薦入試又はＡＯ入試に合格し，入学手続を完了した者は，本学の推薦入試の合格者となることはできません。

Ⅻ　個人情報の取扱いについて

1　個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。
2　出願に当たって知り得た氏名，住所その他の個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報については，本学の入学者選抜・合格者発表，追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導，授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債権管理等を行うためのみ利用し，他の目的には利用しません。
3　国公立大学・学部の一般入試における合格者決定業務を円滑に行うため，氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って，推薦入試Ⅱの合格及び入学手続等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

Ⅻ　障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の３に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で，その障害等の程度に応じ，受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は，事前に本学と相談してください。

なお，補聴器，松葉杖，車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区　　分	障　害　の　程　度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	１　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ２　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	１　慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ２　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

（注）学校教育法施行令第22条の３の規定に準拠した。

１　相談の期間

原則として，令和２年（2020年）１月７日（火）までとします。

※　相談の内容によっては対応に時間を要することがあり，本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

２　相談の方法

電話などにより事前に連絡した上で，次の内容を記載した事前相談書（様式任意＊）等を提出してください。

⑴　事前相談書（次の事項等を記載したもの。＊）

①　志願者の氏名及び生年月日
②　志願者の現住所，電話番号及び保護者の連絡先
③　出身学校
④　志願学部・学科・課程等
⑤　障害の種類・程度
⑥　受験上特別な配慮を希望する事項
※　大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた場合は，その写しを添付すること。
⑦　修学上特別な配慮を希望する事項
⑧　出身学校等でとられていた特別な配慮
⑨　日常生活の状況

⑵　医師の診断書＊

⑶　その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

＊様式例は本学ホームページの障害のある入学志願者の事前相談についてを参照してください。
https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/jizensoudan.html

３　問い合わせ先

〒890-8580　鹿児島市郡元一丁目21-24
鹿児島大学学生部入試課入試実施係　　TEL 099-285-7355

ⅩⅣ　学生寮，入学料免除制度，入学料徴収猶予制度，授業料免除制度及び奨学金等

次の項目の詳細については，鹿児島大学学生部学生生活課に問い合わせてください。
（土曜日・日曜日・祝日を除く。）

学生寮……学生企画係　TEL 099-285-7340
入学料免除制度，入学料徴収猶予制度，授業料免除制度……経済支援第二係　TEL 099-285-7033
奨学金……経済支援第一係　TEL 099-285-8154

1　学生寮

本学には，学生の居住施設としての学生寮及び外国人留学生のための国際交流会館があります。

学生寮に入寮を希望する場合は，本人の申請に基づき選考を行い，経済的困窮度の高い者から優先的に入寮が許可されます。

なお，学生寮に入寮できる条件は，原則として，自宅から公共交通機関を利用して通学に90分以上を要する者です。

⑴　概要

2019年４月現在

寄宿舎名	唐湊寄宿舎			桜ケ丘寄宿舎
男女の別	男子寮		女子寮	
建物名	A棟	B棟	唐湊女子寮	桜ケ丘女子寮
収容定員	76人	92人	81人	99人
寄宿料（月額）	4,300円	4,300円	4,300円	5,900円
寮構造	鉄筋５階建	鉄筋５階建	鉄筋４階建	鉄筋５階建
建築年度	昭和57年	昭和58年	昭和41年 平成13年全面改装	昭和49年 平成20年一部改装
居室の形態	個室	個室	個室	個室
入居対象学部等	全学部 （大学院生を含む。）		医学部・歯学部を除く全学部（大学院生を含む。）	医学部･歯学部のみ（大学院生を含む。）
寮から各キャンパスへの通学所要時間	※郡元キャンパスまで，徒歩約15分 ※下荒田キャンパス（水産学部）まで，徒歩約30分 ※桜ヶ丘キャンパス（医学部･歯学部）まで，バス，電車等を利用し約1時間			桜ケ丘キャンパス内 (医学部・歯学部)
諸経費	光熱水費など　月額7,000円～9,000円			
所在地	唐湊寄宿舎　〒890-0081　鹿児島市唐湊三丁目3-1 桜ケ丘寄宿舎　〒890-0075　鹿児島市桜ケ丘八丁目35-1			
その他設備等について	食事なし（自炊可能） キッチン，トイレ，浴室，洗面所は共同 洗濯機，乾燥機を各階に設置			

(注) 学生寮の改修等に伴い，寄宿料（月額）が改定されることがありますので，あらかじめご了承ください。

⑵　学生寮への入寮手続について

学生寮への入寮を希望する者は，次の内容を確認し，入寮者募集要項及び入寮願書を取得の上，申請してください。

①入寮者募集要項及び入寮願書の公表　令和元年12月中旬

②取得方法

●鹿児島大学ホームページからダウンロード（Ａ４用紙に印刷）

（URL）https://www.kagoshima-u.ac.jp//education/ryou.html

「鹿児島大学」→「入学希望」→「入学時の必要経費，奨学金等」の「学生寮」をクリック

●郵送による請求

次の要領により，下記⑤の担当部署へ請求してください。

・返信用封筒（「角形２号」封筒に140円切手を貼付し，送付先の郵便番号，住所及び氏名を明記したもの）を同封の上，請求する封筒の表に「学生寮入寮願書請求」と朱書きし，入学試験関係書類とは別に請求してください。

・郵送による請求は，令和２年１月30日（木）まで受け付けます。

③申請受付期間

令和２年１月31日（金）から２月14日（金）17時まで

④入寮選考結果の通知

対　　象	発　送　日
一般入試（前期日程），ＡＯ入試，推薦入試，私費外国人学部留学生入試，国際バカロレア入試，自己推薦型入試，学部編入学及び大学院入学予定者	令和２年３月６日（金）
一般入試（後期日程）	令和２年３月20日（金）

⑤担当部署

〒890-0065　鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21-30
鹿児島大学学生部学生生活課学生企画係（共通教育棟１号館１階）
電話　099-285-7340

２　アパート・マンション・食事付下宿について

学生用のアパート・マンション・食事付下宿については，鹿児島大学生活協同組合で紹介しています。

⑴ 紹介時期　通年

⑵ 場　　所　鹿児島大学生協すまいの窓口（中央食堂裏）
２月中旬～３月末は中央食堂内特設会場（郡元キャンパス）

⑶ 家賃などの目安

アパート木造（4.5～６畳）	15,000円～30,000円（キッチン，バス，トイレ付）
１Ｋ及びワンルームマンション（６～８畳）	30,000円～45,000円（キッチン，バス，トイレ付）
１Ｋ及びワンルームマンション（８～10畳）	42,000円～55,000円（キッチン，バス，トイレ付）
食事付下宿（4.5～６畳）	49,000円～70,000円

⑷ 問い合わせ先

鹿児島大学生活協同組合すまいの窓口　TEL 099-255-3427
インターネットでのお部屋さがしは　鹿児島大学生協　検索
「受験生・新入生応援サイト」のボタンを押してください。
「合格前の仮予約」については，鹿児島大学生協にお問い合わせください。
詳しくは鹿児島大学生協のホームページをご覧ください。

３　入学料免除制度

入学前１年以内に，本人の学資を主として負担する方（以下「学資負担者」という。）が死亡した者，本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者には，本人の申請に基づき選考の上，入学料の全額又は半額が免除される制度があります。(2019年度入学の場合)

ただし，入学料を納付した場合，申請は無効になります。

４　入学料徴収猶予制度

経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者，入学前１年以内に学資負担者が死亡した者，本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより，納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者には，本人の申請に基づき選考の上，入学料の徴収が一定期間猶予される制度があります。(2019年度入学の場合)

5　授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者，入学前１年以内に学資負担者が死亡した者，本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより，授業料の納付が困難であると認められる者には，本人の申請に基づき選考の上，その期の授業料の全額又は半額が免除される制度があります。(2019年度入学の場合)

※３～５の説明については現行（2019年度まで）の実施内容に基づいております。令和２年度（2020年度）から開始の新たな修学支援（入学料･授業料免除，給付奨学金）については，詳細が決定次第，本学HPでご案内します。

6　奨学金

⑴　日本学生支援機構

学業・人物ともに優秀であって，経済的理由により修学が困難と認められる学生に，本人の申請に基づき選考の上，奨学金が貸与されます。

奨学金の種類には,「第一種奨学金 (無利子)」と「第二種奨学金 (有利子)」があり,併用貸与も可能です。

なお，地方公共団体等が実施する奨学金返還支援制度および第一種奨学生特別枠推薦制度（地方創生枠）があります。

また，高等学校等で申請手続を行い，大学入学後に各種手続を行う給付奨学金の制度もあります。

【貸与月額】以下から選択できます。(2019年度入学の場合)

第一種奨学金

20,000円，30,000円，45,000円（自宅通学）

20,000円，30,000円，40,000円，45,000円，51,000円（自宅外通学）

第二種奨学金

20,000円, 30,000円, 40,000円, 50,000円, 60,000円, 70,000円, 80,000円, 90,000円, 100,000円, 110,000円，120,000円

貸与期間中に必要に応じて貸与月額を変更することもできます。

また，１年次において入学月を始期として奨学金の貸与を受ける者は，希望により，原則貸与月額の初回振込時に100,000円，200,000円，300,000円，400,000円，500,000円を増額して貸与する入学時特別増額貸与奨学金（有利子貸与）を申請することができます。ただし，編入学生の場合は，編入学年月を始期とする者のみです。

※令和２年度（2020年度）から開始の新たな修学支援（入学料･授業料免除,給付奨学金）については,詳細が決定次第，本学HPでご案内します。

⑵　鹿児島大学離島高等学校出身者支援スタートアップ奨学金

鹿児島県内の離島地域に所在する高等学校を卒業し，現役で鹿児島大学に入学した学部生のうち，入学年度の本学前期分授業料免除を申請した上で，許可された学生を対象に，250,000円を給付する制度です。

⑶　その他の奨学金

日本学生支援機構のほか，都道府県市町村奨学金や各種団体奨学金があり，本人が直接出願するものと大学を通して行うものとがあります。

なお,団体等によっては,日本学生支援機構やその他の奨学金との重複採用を認めないことがあります。

7　保険

⑴　学生教育研究災害傷害保険

体育実技や実験実習・課外活動中には，万全の注意を払っていても不幸にして不慮の事故により負傷・後遺障害といった災害を被ることがあります。

このような正課中，学校行事中及び課外活動中に被った災害・傷害（体育実技・課外活動中のケガ，実験中の火傷等）に対する補償制度として,「学生教育研究災害傷害保険」があります。この保険は通学中等担保特約付きとなっていて，通学中の事故についても補償されます。

その他，日本国内外において他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したことにより，法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償する制度として「学研災付帯賠償責任保険」が

あり，Ａコース（正課中，学校行事中，課外活動中及びその往復（Ｂコースの補償範囲を含む））及びＢコース（インターンシップ，教職資格活動等，ボランティア活動及びその往復）があります。

この保険は「学生教育研究災害傷害保険」に加入した者のみ加入でき，入学後，必要に応じて加入することになります。

学　　部	保険料（掛金）	学　　部	保険料（掛金）
法文学部 教育学部 理学部 工学部	「学生教育研究災害傷害保険」 3,300円（４年間分） 「学研災付帯賠償責任保険」 Ａコース　340円（１年間分） Ｂコース　210円（１年間分）	医学部 歯学部 共同獣医学部	「学生教育研究災害傷害保険」 4,800円（６年間分） 「学研災付帯賠償責任保険」 Ａコース　340円（１年間分） Ｂコース　210円（１年間分）

（注）保険料は改定されることがあります。

（注）医学部及び歯学部は「学生教育研究災害傷害保険」の「接触感染予防保険金支払特約」（100円・６年間分）及び「学研災付帯賠償責任保険」のＣコース（医療関連実習及びその往復:3,000円・６年間分）が必要となります。
詳しくは，鹿児島大学生活協同組合（099-255-0131）に問い合わせてください。

⑵　学生総合共済・学生賠償責任保険

鹿児島大学生活協同組合が扱っている24時間保障の「学生総合共済・学生賠償責任保険」は，学内外の日常生活で生じるスポーツ事故，交通事故，一時的な病気，その他について必要な補償が受けられる制度です。

詳しくは，鹿児島大学生活協同組合（099-255-0131）に問い合わせてください。

８　入学時の必要経費

入学料282,000円，授業料（半期分）267,900円のほかに学友会費（４年間分）20,000円［医学部（医学科），歯学部，共同獣医学部は（６年間分）29,200円］，教科書代等15,000円～30,000円程度の所要経費が見込まれます。

その他，学部によっては，後援会費等の諸経費が別途必要な場合があります。詳しくは，各学部の担当係（裏表紙参照）に問い合わせてください。

※共同獣医学部では，講義，演習及び実験・実習に伴う必要な交通費・宿泊費などの経費について，学生負担をお願いする場合があります。

XV　入試情報開示

小論文の正解・解答例の開示

合格者発表後,「正解・解答例」を鹿児島大学学生部入試課で開示します。
なお，次の点に留意してください。
1　正解・解答例については,「例示」であり，複数の正解・解答例があり得ます。
2　正解・解答例に代えて，出題意図を開示する場合もあります。

入学者選抜試験個人成績の開示

令和２（2020）年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

1　開示内容

⑴　試験成績

【得点】大学入試センター試験及び総合的に評価している個別学力検査等を除く個々の科目の得点（傾斜配点がある科目にあっては傾斜配点後の得点）並びに総合得点を開示します。

【順位】総合的に評価している学部・学科等を除き，総合得点による順位を開示します。

⑵　調査書

「各教科・科目等の学習の記録」等について開示し,「指導上参考となる諸事項」,「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄の記載内容は開示しません。

なお，郵送による開示請求の場合は開示しません。

2　開示期間

⑴　郵送での開示期間（開示請求受付期間）
令和２年（2020年）５月１日（金）～５月31日（日）（消印有効）

⑵　窓口での開示期間
令和２年（2020年）５月１日（金）～５月29日（金）　９時～17時まで（土曜日･日曜日･祝日を除く。）

3　請 求 者　受験者本人に限ります。（代理人の請求は認めない。）

4　開示方法

⑴　鹿児島大学学生部入試課で開示します。
原則として,「令和２（2020）年度鹿児島大学入学試験受験票（開示請求する選抜区分のもの）」が必要となります。

⑵　郵送により開示請求を行う者は，次の①～③を取り揃えて，封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書し，書留郵便で請求してください。ただし，開示期間中の消印のあるものに限り受け付けます。
なお，本人確認のため，問い合わせをする場合があります。
①　入試情報開示請求書（様式は右記のとおり）
②　令和２（2020）年度鹿児島大学入学試験受験票（開示請求する選抜区分のもの）
③　返信用封筒（長形３号封筒に404円分の切手を貼付し，自分の宛先を明記したもの）

⑶　請求先
〒890-8580　鹿児島市郡元一丁目21-24
鹿児島大学学生部入試課入試実施係

5　その他

平成31年度以前の個人成績は開示しません。

【郵送による場合の様式】　A４用紙

入試情報開示請求書

年　月　日

鹿児島大学長　殿

（〒　－　）

請求者　現 住 所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日　年　月　日

選抜方法（該当事項に○を付し，所要事項を記載してください。）

1．一般入試（前期日程）
2．一般入試（後期日程）
3．アドミッション・オフィス入試（AO入試）
4．推薦入試Ⅰ
5．推薦入試Ⅱ
6．私費外国人学部留学生入試
7．国際バカロレア入試
8．自己推薦型入試

受験学部等

＿＿＿学部＿＿＿＿＿学科･課程

＿＿＿＿＿専攻･ｺｰｽ･(教科:　)

＿＿＿＿＿領域・プログラム

受験番号＿＿＿＿＿

私の入試情報について，下記のとおり開示を請求します。

記

試験成績

注：開示請求する選抜方法を記入する。
1．一般入試(前期日程)～8．自己推薦型入試等の入試区分を併願し，各々についても請求する場合は，受験番号，選抜区分も各々を記入すること。

鹿 児 島 大 学 位 置 図

鹿児島大学各学部等の連絡先一覧

学 部 地 区	学 部 等	担当係名	所 在 地	電話番号
Ⓐ 郡元キャンパス	学生部入試課	入試実施係	〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21−24	099−285−7355
	法文学部	学 生 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21−30	099−285−7525
	教育学部	教 務 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20−6	099−285−7713
	理 学 部	学 生 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21−35	099−285−8025
	工 学 部	学 生 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21−40	099−285−3066
	農 学 部 共同獣医学部	学 生 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21−24	099−285−3553
Ⓑ 桜ヶ丘キャンパス	医 学 部 歯 学 部	医学教務係 保健学教務係 歯学教務係	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35−1	099−275−6721 099−275−6724 099−275−6040
Ⓒ 下荒田キャンパス	水産学部	学 生 係	〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目50−20	099−286−4040

※学生部入試課へのアクセス

JR鹿児島中央駅東口バスのりば「東14」から市営バス「⑱ 大学病院」，又は「東15」から市営バス「⑨ 武岡・鴨池港」，「⑪ 鴨池・冷水」，「⑳ 緑ヶ丘・鴨池港」，「東22」から鹿児島交通バス「⑲ 紫原・桜ヶ丘」を利用し，「鹿大正門前」下車，徒歩約2分

鹿児島大学ホームページアドレス

https://www.kagoshima-u.ac.jp/